興奮再現。

持ち運んで楽しむか

BIG SOUNDS
実用最大出力4.2W
TRK-8030 ￥43,800



クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W＋2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

- ●FM／AM2バンドラジオつき
- ●(クロム／ノーマル)テープセレクター採用
- ●フルオートストップ
- ●外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
- ●ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき

ステレオ パディスコ8030

TRK-8030 ￥43,800

●電源DC：9V(単1×6) AC：100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システム パディスコ



組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)

●専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット￥11,800
●レコードプレヤーHT-320 別売り ￥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ￥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。
★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉
HITACHI CASSETTE RECORDER
HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。



第三回 日本ハンドボールリーグ後期結果報告

～その2～

第四週

■第1日

9月30日（土） 広島県立体育館

観客 五〇〇

ジャスコ 18（9－2 9－5）7 ムネカタ

（評）立ち上がりからのジャスコのスピーディなコンビネーションプレーに対しムネカタはボールが手につかないもたついた攻守で勝負は前半で決した試合であった。この試合ジャスコ10番横山は5得点をあげる。

得	【ジャ】		【ムネ】	得
0	久保	GK	海村	0
			清水た	0
4	松下	FP	近内	0
2	金田		鈴木	1
2	河田		清水み	3
2	若田		石田	2
5	横山		米野	0
2	辻本	（審・荒谷 平田）	落合	0
0	林		水野	1
0	鈴木		物井	0
0	平田		加藤	0
1	山本二			
18（1）		PT		（1）7

日新製鋼 17（8－4 9－9）13 三景

前半の中盤までは一進一退で好ゲームの展開となったが、その後の脚力を生かした日新は二段速攻などで得点を重ね前半は有利に試合を運んだ。後半はスピードの日新とテクニックの三景といったかんじでまったくの互角で攻守に両チーム共目を見張らせるものがあり観客をわかせた。

得	【日新】		【三景】	得
0	三田	GK	小林	0
0	筒本		野田	0
0	泉	FP	佐々木	0
4	徳田		鈴木	3
2	大庭		山村	2
2	吹上		島中	2
2	脇若		村田	5
7	下茂	（審・柳井 東）	中馬	0
0	森		川島	1
0	湯中		地主園	0
0	高木		上野	0
0	日野		吉近	0
17（1）		PT		（1）13

■第2日

10／1（日） 徳山市体育館

観客 五〇〇

本田技研鈴鹿 25（9－8 16－8）16 大阪イーグルス

本田立上り3－0とリードされ3番佐藤もマンツーマンで動きを封じられ苦戦したが、フリースローからの佐藤の得点で中盤から、かみあい出した動きのよい攻撃で1点リードし前半を終った。後半は一気にリードをひろげ。1番柴田も得点するなど調子に乗って逃げきった。

得	【本田】		【イグ】	得
1	柴田	GK	本田	0
0	細野			
1	田上	FP	福井	9
7	佐藤		大西	2
5	喜井		高橋	1
1	西田		橋本	1
4	高橋		河原崎	2
4	佐々木	（審・平田 荒谷）	早川	1
2	豊岡		足羽	0
0	水本		三谷	0
0	矢野		千野	0
0	谷元		勝本	0
25（2）		PT		（1）16

湧永薬品 27（13－7 14－5）12 日新製鋼

前半のすべり出しは日新の動きが良くリードしたが次第に湧永の動きが良くなり点差がついた。後半も湧永のデフェンスが固く、日新が攻めあぐみ大きな点差になった。

得	【湧永】		【日新】	得
0	福井	GK	三田	0
0	今井		筒本	0
7	津川	FP	泉	5
5	穂積		下茂	0
3	藤本		吹上	0
2	戸田		脇若	1
3	松本		大庭	2
2	山本		徳田	3
0	木野	（審・岡村 横瀬）	森	0
0	高橋		湯中	1
4	生駒		高木	0
1	池之上		日野	0
27（2）		PT		（0）12

立石電機 11（5－3 6－5）8 東北ムネカタ

立石2番のパスカットで1分50秒に先取点をあげ主導権を握るかに見えたがその後パスを良く廻しているが得点にむすびつかず、もう一つ最後のつめがたらず苦戦している感じ、ムネカタ余り動きはよくないが4番、5番の長身をいかしてロングシュートで攻め、くい下がる。後半立石ポストスカイプレーで立て続けに3点をきめムネカタをふりきった。

得	【立石】		【ムネ】	得
0	丸山	GK	海村	0
0	井村		清水た	0
2	姫野	FP	近内	0
3	桑原		鈴木	0
0	平下		清水み	3
0	林		米野	3
3	羽立		落合	1
1	橋ノ口	（審・中村 柳井）	水野	0
1	福永		物井	1
1	薮田		石田	0
0	喜久山		助藤	0
0	紀野			
11（0）		PT		（0）8

同 高岡市民体育館

観客 八〇〇

大同特殊鋼 25（11－4 14－7）11 大崎電気

得	【大同】		【大崎】	得
0	柳川清	GK	岡部	0
0	大園		原田	0
7	中井	FP	斉藤	4
5	蒲生		大熊	3
0	花輪		長野	0
4	柳川実		椿原	1
8	大原		橋本	1
0	中本	（審・田嶋 徳前）	佐伯	2
0	更谷		坂口	0
1	浦田		新田	0
0	小野		松岡	0
0	松原		金井	0
25（3）		PT		（3）11

大同中井の得点で先攻、すかさず大崎大熊の得点で追つき、前半10分間追いつ追われつのゲーム展開、大崎は大同蒲生選手をマンツーマンで、得点を最少限にくいとめようとの作戦にでたが、大原、

「ハンドボール」

53年12月号（第169号）目次

【表紙写真】男子第21回全日本学生選手権大会決勝 日体大－日大

スポーツイベント紙 提供

中村の活躍で大同が大差で勝った

日本ビクター 15（9－3 5－6）9 北国銀行

日本ビクターエーム加藤のシュートで始まり、速いビクターのパスワークで一方的な試合であった

得	【ビク】		【北国】	得
0	鈴木	GK	酒谷	0
0	塙	GK	高橋	0
4	加藤	FP	庄田	1
4	穂積	FP	中山	3
4	小島	FP	本田	1
0	染谷	FP	木戸	0
2	伊藤	FP	千歩	1
1	池田	FP	山際	2
0	斎藤	FP	八木	1
0	岩城	FP	西出	0
0	寺村	FP	坂	0
0	村上	FP	木内	0
		（審・山口 田嶋）		
15	（2）	PT	（1）	9

ブラザー工業 14（8－4 6－6）10 日立栃木

日立は立ち上がりからミスが目立ち、それが逆にブラザーの得点に殆んど結びついたゲームであった。

得	【ブエ】		【日立】	得
0	山本	GK	寺沢	0
0	屋比久	GK	斎藤	0
3	岩井	FP	山井	0
1	則武	FP	島田	1
1	宮平	FP	吉田	6
1	植田	FP	荒木	2
5	山村	FP	小根沢	0
0	木下	FP	大輪	0
3	中川	FP	山戸	0
0	宮本	FP	箕輪	1
0	岡山	FP	水上	0
0	川村	FP	毛塚	0
		（審・村井 若山）		
14	（4）	PT	（1）	10

第五週

■第一日

16／28（土） 郡山総合体育館

観客 一、五〇〇

日新製鋼 18（9－11 9－6）17 大崎電気

得点がせり合ったわりには、盛り上りに欠けるゲームであった。後半20分頃より、日新ディフェンスの動きがするどくなり、大崎のパスミス等により速功で得点をかされ逃げ切る。

得	【日新】		【大崎】	得
0	三田	GK	岡部	0
0	筒本	GK	原田	0
1	泉	FP	斎藤	4
6	徳田	FP	坂口	0
4	大庭	FP	大熊	3
1	吹上	FP	新田	2
2	脇若	FP	長野	1
0	森	FP	椿原	5
4	下茂	FP	佐伯	2
0	湧中	FP	橋本	0
0	高木	FP	松岡	0
0	日野	FP	金井	0
		（審・森 村上）		
18	（3）	PT	（2）	17

大崎電気 16（7－3 9－4）7 東化ムネカタ

スタートと、両チーム共動きに堅さがみられたが、10分過ぎ、大崎電気の石井が1－1の同点シュートをはなちペースをつくる。ムネカタはミスが続き得点をゆるし前半を終る。後半に入り大崎電気は良く走りムネカタをつきはなす

得	【大崎】		【ムネ】	得
0	中島	GK	海村	0
0	藤村	GK	清水た	0
4	西	FP	本郷	0
0	陽田	FP	近内	0
0	内野	FP	鈴木	0
5	大場	FP	清水み	3
0	渡部	FP	加藤	0
6	石井	FP	水野	2
0	江島	FP	落合	0
1	徳渕	FP	水野	0
0	宮嶋	FP	物井	0
0	根間	FP	川音	0
		（審・加藤 勝山）		
16	（2）	PT	（1）	7

同 足利市民体育館

観客 八〇〇

大阪イーグルス 18（7－6 11－7）13 三景

前半試合は大阪イーグルスのベースで始まり、高橋の活躍とGK本田の好守で終始リードを守った。三景はリズムが合わず、ペースがつかめなかったが、鈴木が一人9点をあげる健闘がひかった。

得	【イグ】		【三景】	徳
0	広川	GK	小林	0
0	本田	GK	野田	0
7	高橋	FP	佐々木	0
0	足羽	FP	鈴木	9
3	大西	FP	山村	0
1	橋本	FP	島中	0
2	河原	FP	地主園	1
3	早川	FP	村田	0
2	福井	FP	中馬	0
0	三谷	FP	上野	0
0	勝本	FP	西窪	3
0	千野	FP	吉近	0
		（審・高橋 山下）		
18	（1）	PT	（3）	13

北国銀行 11（7－6 4－4）10 日立栃木

北国銀行はチームワークよくフェイントからのカットインプレーと、山際、千歩の活躍で終始リードを保った。日立は前半かたくなっており、後半14分ようやく1点リードしたがディフェンスもあまく、すぐ同点とされた。終了1分前、北国銀行、山際はPT後のリバウンドをゲットし1点差で逃げきった。

得	【北国】		【日立】	得
0	酒谷	GK	寺沢	0
0	高橋	GK	斉藤	0
1	庄田	FP	山井	1
1	中山	FP	島田	5
0	本田	FP	吉田	2
0	木戸	FP	荒木	1
3	千歩	FP	小根沢	0
4	山際	FP	大輪	0
0	坂	FP	山戸	0
0	崎田	FP	箕輪	0
2	八木	FP	水上	1
0	木内	FP	毛塚	0
		（審・永山 斉藤）		
11	（1）	PT	（1）	10

■第2日

10／29（日） 長岡市厚生会館

観客 一、二〇〇

ブラザー工業 11（6－3 5－7）10 ジャスコ

前半ブラザーはスピードとパワーで、ジャスコを圧倒、後半ジャスコはじりじりと追い上げ、松下河田らのロングシュートで追い上げたが及ばなかった。

得	【ブエ】		【ジャ】	得
0	山本	GK	久保	0
0	屋比久	GK	山本一	0
1	岩井	FP	平田	0
2	則武	FP	松下	3
2	宮平	FP	林	1
3	植田	FP	金田	2
1	山村	FP	鈴木	0
0	木下	FP	河田	3
2	中川	FP	若田	1
0	宮本	FP	横山	0
0	岡山	FP	辻本	0
0	川村	FP	山本二	0
		（審・村上 若山）		
11	（0）	PT	（1）	10

本田技研鈴鹿 29（14－5 15－9）14 三陽商会

本田は佐藤、田上、喜井らがそつなく得点、三陽も関、梅屋らが得点をあげ、よく健闘したが、本田GKの守りが固く大差をつけられた。

得	【本田】		【三陽】	得
0	柴田	GK	吉近	0
0	細野	GK	田村	0
3	用上	FP	近森	0
11	佐藤	FP	関	4
7	喜井	FP	山辺	0
3	豊岡	FP	坪子	2
1	矢野	FP	稲枝	0
0	西田	FP	石原	1
0	松永	FP	梅屋	6
0	高橋	FP	鶴沢	0
3	佐々木	FP	金子	0
1	谷元	FP	小倉	1
		（審・柳沢 加藤）		
29	（3）	PT	（1）	14

第六週

■第1日

11月3日（金）久留米総合スポーツセンター県立体育館

観客 一、〇〇〇

立石電機 14（8－6、6－8）14 ブラザー工業

立石チームによって均こうが破れたが両者相ゆずらず一進一退の攻防をくり返し前半を8－6と立石有利に終る。後半立上りブラザーの凡ミスをついて立石2点連続ゲット、4点と差を開くがパス、スピードで上回るブラザーの地力を発揮、終了3分前、宮平のゲットで同点とし引分けに終った。

得	【ブ工】		【立石】	得
0	山本	GK	丸山	0
0	屋比久	GK	井村	0
1	岩井	FP	姫野	4
0	山中	FP	桑原	3
2	則武	FP	平下	0
2	宮平	FP	紀野	2
1	植田	FP	林	0
4	山村	FP	羽立	3
1	木下	FP	橋ノ口	0
3	中川	FP	福永	0
0	宮本	FP	藪田	2
0	岡山	FP	喜久田	0
14	（4）	PT	（2）	14

（審・近藤・日野）

湧永薬品 29（13－6、16－5）11 三陽商会

前半8分まで両チームとも1対1で進行する。湧永は松本のサイドシュートで加点してから調子をだしペースを取り戻すも、三陽は依然として得点がなく15分にして加点する。湧永はこのペースを後半も速攻に、セットに於いても得点し、リードして行く。三陽は依然として湧永ディフェンスを破ることが出来ず苦戦する。三陽も関中心に若い力を集中出来る様今後の健闘を期待する。

得	【三陽】		【湧永】	得
0	吉近	GK	今井	0
0	田村	GK	福井	0
0	近森	FP	津川	5
7	関	FP	木野	0
1	坪子	FP	穂積	5
0	稲木	FP	藤本	0
2	石原	FP	高橋	0
0	梅屋	FP	戸田	6
0	鵜沢	FP	松本	8
0	三上	FP	山本	4
0	金子	FP	生駒	0
1	小倉	FP	池ノ上	1
11	（2）	PT	（1）	29

（審・福田・松尾）

■第2日

11月4日（土）熊本市体育館

観客 一、五〇〇

大同特殊鋼 19（8－7、11－9）16 本田技研鈴鹿

前半は立ちあがり本田技研の好ディフェンスからミスをさそい2点先行したが、大同も速攻でたちまち逆転し、以後は、蒲生の活躍で大同がリードすると佐藤の得点で本田技研が追いつく好ゲームとなって終了。後半も同じような展開の追いつ追われつのシーソーゲームに、ゲーム終了まぎわに蒲生の連続得点で逃げきった。蒲生選手の10点。後半マンツーマンで守りながらも佐藤選手の9点。本田技研GK柴田選手の美技が光った

得	【本田】		【大同】	得
0	柴田	GK	柳川清	0
		GK	大園	0
9	佐藤	FP	中井	0
0	喜井	FP	松原	1
0	豊岡	FP	花輪	3
0	水本	FP	柳川実	0
1	矢野	FP	大原	4
2	西田	FP	中本	1
0	高橋	FP	蒲生	10
1	佐々木	FP	更谷	0
3	田上	FP	浦田	0
0	谷元	FP	小野	0
17	（2）	PT	（4）	25

（審・島田・森）

立石電機 10（6－4、4－4）8 北国銀行

立石チームが立ち上がりPTスローで連取して、その後の両チームの速攻からの得点争いで優位に立ち、前半をリードして、後半を迎えた。後半は北国銀行ペースでゆっくりとした攻防が続いた。後半20分までは1点を争うシーソーゲームだったが、終了近くに立石の平下がスタンディングで連取して試合を決めた。

得	【北国】		【立石】	得
0	酒谷	GK	丸山	0
0	高橋	GK	井村	0
1	庄田	FP	姫野	1
0	中山	FP	桑原	1
1	本田	FP	平下	5
0	木戸	FP	紀野	1
2	千渉	FP	林	0
3	山際	FP	羽立	0
0	西出	FP	橋ノ口	0
0	坂	FP	福永	0
1	八木	FP	藪田	2
0	木内	FP	喜久山	0
8	（1）	PT	（3）	10

（審・近藤・日野）

同 横浜文化体育館

観客 一、六〇〇

大崎電気 25（10－10、15－7）17 大阪イーグルス

前半は両者全くの互角で好ゲームを展開したが、後半10分以後大崎の動きが上回り徐々に点差をひろげていった。イーグルスはシュートのうち急ぎからチャンスをつぶし、後半20分〜26分に3本のPTを喫したのが致命傷だった。大崎、椿原7点、大熊8点の健闘が目立った。一方イーグルスの福井が一人で8得点を上げる観客を大いに湧かせた。

得	【イグ】		【大崎】	得
0	広川	GK	岡部	0
0	本田	GK	原田	0
2	高橋	FP	斉藤	5
0	足羽	FP	坂口	0
1	大西	FP	大熊	8
2	橋本	FP	新田	2
1	河原	FP	長野	1
3	早川	FP	椿原	7
8	福井	FP	佐伯	2
0	杉尾	FP	橋本	0
0	三谷	FP	松岡	0
0	藤本	FP	金井	0
16	（3）	PT	（2）	19

（審・大塚・佐分）

日本ビクター 11（4－1、7－5）6 日立栃木

前半かたくなっていたビクターが中盤から加藤の切り込みで、日立をリード、そのまま押し切った。日立はビクターのディフェンスを攻めあぐみ、最後の3分間に日立らしい小気味よい動きで3点をあげた。

得	【日立】		【ビク】	得
0	寺沢	GK	鈴木	0
0	斉藤	GK	塙	0
1	山井	FP	加藤	5
2	嶋田	FP	穂積	3
1	吉田	FP	小島	0
1	荒木	FP	斉藤	0
0	小根沢	FP	染谷	2
0	大輪	FP	伊藤	0
0	箕輪	FP	岩城	0
1	水上	FP	寺村	0
0	毛塚	FP	村上	0
0	大高	FP	池田	1
6	（0）	PT	（2）	11

（審・千野・斉藤）

■第3日

11月5日（日）静岡県営草薙体育館

観客　五五〇

ジャスコ　13（8－5／5－0）5　大崎電気

前半最初に大崎、西がジャスコの横パスをカット、独走のドリブルから、ノーマークシュートをはずした。返す速攻でジャスコの鈴木、河田のコンビが得点した。この得点が試合の主導権を左右したジャスコは、好調の河田を中心にフォーメーションと速攻を折りまぜ、着々と得点を重ねた。一方大崎は相手GKの好守とディフェンスのはげしいチェックに前半無得点に終った。後半やや疲れを見せたジャスコに対し、若い大崎はよく走り、互角にゲームを進めたが力に勝るジャスコがそのまま押し切った。

	【大崎】	得	【ジャ】	得
GK	中島	0	久保	0
GK	藤村	0	山本一	0
FP	西	3	平田	0
FP	陽田	0	松下	3
FP	内野	0	林	0
FP	大場	0	金田	2
FP	渡部	0	鈴木	0
FP	石井	1	河田	4
FP	徳渕	0	山本二	3
FP	江嶋	1	若田	0
FP	宮嶋	0	横山	0
FP	根間	0	辻本	1

（審・奥村　稲石）

13（1）PT（0）5

湧永薬品　23（15－5／8－5）10　三景

前半、最初は三景が先手をとった。両軍共はげしいチェックの中早いパスで好試合が展開された。湧永の調子のでないうち、三景は村田を中心に2点リードで先攻したが、湧永は温存していた木野が出てからディフェンスに、オフェンスにしまりが入り、実力通りの試合が出来るようになった。後半になり湧永は、益々調子にのり、三景を全く寄せつけない一方的な試合となった。

	【三景】	得	【湧永】	得
GK	小林	0	今井	0
GK	野田	0	福井	0
FP	鈴木	3	津川	4
FP	山村	0	木野	2
FP	吉近	0	穂積	2
FP	島中	0	藤本	0
FP	地主園	2	原田	1
FP	村田	2	戸田	3
FP	中馬	2	松本	4
FP	上野	0	山本	2
FP	西窪	1	生駒	3
FP			池ノ上	2

（審・大橋　久保田）

23（4）PT（2）10

第七週

第3回日本ハンドボールリーグ最終週は、11月11日(土)12日(日)豊橋市民体育館他2会場で男子3試合、女子5試合を行った。

男女共優勝のかかったゲームが名古屋市体育館で行われ、男子は湧永薬品必死の追い込みをかわして、大同特殊鋼が、2度目の優勝を果たした。一方、女子は、ジャスコの猛追を振り切り、日本ビクターが、昨年に続いて2連勝を飾った。

尚個人賞の得点王は、松本義樹（湧永、2回目）と伊藤珠美（ビクター、初）最多得点王は蒲生晴明（大同、2回目）と松下仁美（ジャスコ、初）が夫々受賞した。

54年度は、男子が6チームになり、かなり密度の高いゲームが期待出来る。一方女子は、現状の8チームだが、ムネカタに代って、大和銀行がカムバックした。

■第1日

11月11日（土）豊橋市体育館

観客　五〇〇

北国銀行　16（10－0／6－1）1　ムネカタ

ムネカタは北国銀行のかたいディフェンスに攻めあぐみリズムをつかむ事が出来なかった。一方北国は千歩、山際らを中心に、早いボール展開から着実に得点、前半で大差をつけ、ムネカタに圧勝した。

	【ムネ】	得	【北国】	得
GK	海村	0	酒谷	0
GK	清水たか	0	高橋	0
FP	近内久	0	庄田	1
FP	鈴木	1	中山	3
FP	清水み	0	本田	0
FP	加藤	0	木戸	2
FP	米野	0	千歩	3
FP	落合	0	山際	4
FP	近内正	0	坂	0
FP	永野	0	崎田	0
FP	物井	0	八木	3
FP	川音	0	木内	0

（審・久保田　大橋）

16（3）PT（0）1

ブラザー工業　16（8－5／8－1）6　大崎電気

試合開始早々、ブラザーが2点連取して先行、大崎もよく粘り、一進一退の好ゲームを展開するも次第にブラザーのペースとなり前半を終了。後半に入り、両チーム共うって変ったように激しい動きの攻防戦となったが、ブラザーはGK山本の巧守と相まって速攻がよく決まり、大崎を突き放した。

	【大崎】	得	【ブ工】	得
GK	中島	0	山本	0
GK	藤村	0	屋比久	0
FP	西	1	岩井	3
FP	陽田	0	則武	0
FP	内野	0	宮平	4
FP	大場	4	植田	3
FP	渡部	0	山村	1
FP	石井	1	木下	0
FP	徳渕	0	中川	4
FP	江島	0	宮本	1
FP	宮嶋	0	岡山	0
FP	根間	0	川村	0

（審・安芸　小松）

16（3）PT（1）6

日新製鋼　25（12－9／14－9）18　三陽商会

日新は、前半立ち上がりから、徳田を中心として速い攻撃でペースをつかみ、一方の波に乗り切れない三陽をそのまま押し切った。

	【三陽】	得	【日新】	得
GK	吉近	0	三田	0
GK	田村	0	筒本	0
FP	近森	2	泉	3
FP	関	1	徳田	7
FP	山辺	0	大庭	2
FP	坪子	1	吹上	2
FP	石原	6	脇若	5
FP	梅屋	1	森	0
FP	鵜沢	1	下茂	6
FP	三上	4	湯中	0
FP	金子	3	高木	0
FP	小倉	0	洞ケ瀬	0

（審・岡田　吉田）

25（1）PT（1）18

■第2日

11月12日（日）四日市市体育館

観客　一、五〇〇

ジャスコ（三重）16（10—7／6—5）12 立石電機（熊本）

ジャスコは立上り河田のロングシュートで先制、7分で4対1とした。一方の立石は福永のペナルティー等でよく粘ったが、ジャスコは松下が要所でよく決めて前半を10—7とリードした。後半に入って立石は積極的なディフェンスでよく守ったが決手を欠いて差をつめれず、押切られた。ジャスコはGK久保の好守と松下・河田の両エースがよく決めて、快心の勝利といえよう。

【立石】	得		【ジャ】	得
丸山	0	GK	久保	0
井村	0	GK	山本一	0
姫野	2	FP	平田	0
桑原	3	FP	松下	6
平下	1	FP	林	0
紀野	1	FP	金田	1
林	0	FP	鈴木	1
羽立	0	FP	河田	5
橋ノ口	0	FP	若田	1
福永	3	FP	横山	0
薮田	2	FP	辻本	0
喜久山	0	FP	山本二	2
	12	（4）PT（4）		16

（審・吉田　岡田）

本田技研（三重）27（14—5／13—8）13 三景（東京）

開始早々本田は田上が3点連取9分で6—0とリード、三景は主力を欠いて攻撃が単調になり、GK柴田の堅守にはばまれて本田ペースのゲーム展開となり前半を14—5で終了。後半に入っても本田は多彩な攻撃で着実に加点、一方的なゲームとなった。

【三景】	得		【本田】	得
野田	0	GK	柴田	0
		GK	細野	0
佐々木	0	FP	田上	4
鈴木	3	FP	佐藤	14
山村	1	FP	喜井	6
島中	1	FP	豊岡	0
地主園	1	FP	矢野	2
中馬	2	FP	西田	0
上野	0	FP	松永	1
西窪	5	FP	佐々木	0
		FP	谷元	0
		FP	高橋	3
	13	（1）PT（4）		27

（審・久保田　大橋）

同　名古屋市体育館

観客　一、五〇〇

日立栃木 11（4—6／7—5）引き分け 11 大崎電気

前半は、大崎の動きが鋭く2点のリードであった。しかし、後半日立の動きが良くなり後半10分には8—7と逆点した。その後大崎はPT3本を連取し再逆点となった。一進一退を続けるうちに、両チーム1名ずつの退場者を出した終了間際、日立がPTを得て同点に追いつき、すぐ大崎もPTで勝ち越しのチャンスを得たが失敗となり星を分けた。

【大崎】	得		【日立】	得
中島	0	GK	寺沢	0
藤村	0	GK	斉藤	0
西	6	FP	山井	2
陽田	0	FP	島田	2
内野	1	FP	吉田	0
大場	3	FP	荒木	2
渡部	0	FP	小根沢	0
石井	1	FP	大輪	1
得渕	0	FP	山戸	0
江島	0	FP	箕輪	0
宮嶋	0	FP	水上	4
根間	0	FP	毛塚	0
	11	（4）PT（1）		11

（審・奥村　稲石）

大同特殊鋼 17（10—9／7—5）14 湧永薬品

前半開始早々湧永は大同エース蒲生にマンツーマンで臨んだ。5分まで両者共に無得点のあと、大同蒲生がマンツーマンのスキをついてゴール。ついに互いの均衡が破れ、このあと続いて中井がゴール、更に花輪が湧永ディフェンス中央よりアンダーシュートを決め3—0とした。一方湧永は穂積が10分過ぎに一点を返したが、14分過ぎに再び大同のスカイプレーによる大原の得点で4—1とされた。しかしながら湧永も15分過ぎ頃からようやく本来のペースに乗り、若手山本、戸田らの活躍により2点を返し、観衆を大いに湧かす事実上の優勝決定戦にふさわしい盛り上がりを見せた。

前半を7—5の大同の2点リードで後半に入った両者は、共に益々激しさを増し、一進一退の攻防が展開、緊迫した状態が続いたが5分過ぎ頃から大同、大原が蒲生に替わり徐々にアンダーハンド、速攻等で持ち前の力を発揮し9—6とリード。その後は、湧永の攻撃となったが大勢をくつ返すまでには至らなかった。

× × × × × × × ×

【湧永】	得		【大同】	得
今井	0	GK	柳川清	0
福井	0	GK	大園	0
津川	2	FP	藤中	0
木野	1	FP	中井	2
穂積	1	FP	松原	1
藤本	0	FP	花輪	2
戸田	1	FP	柳川実	1
松本	4	FP	大原	6
山本	2	FP	中本	0
原田	0	FP	蒲生	5
生駒	3	FP	浦田	0
池之上	0	FP	小野	0
	14	（1）PT（2）		17

（審・光島　狩野）

日本ビクター 10（4—6／6—0）6 ブラザー工業

前半開始2分ビクターはブラザーディフェンスの乱れからPTをものにし先制を上げる。しかし今シーブ好調波に乗るブラザーは、3分則武、4分植田、5分中川のポストと3点連取により3—1とし優位に立った。

思わぬ自己のペースの乱れに苦しむビクターは、6分過ぎようやく小島がねじ込んで得点、続いてボールカットから加藤が速攻で決め3—3の同点とした。その後双方共に一追一退の攻防となり、ビクターのわずかに一点のリードで後半を迎える。

後半はビクターの一方的なペースでゲームが展開、ビクターが3度目の優勝を飾った。

しかしながら敗れたとは言え、ブラザーの大健闘は、後期のリーグを大いに盛り上げ今後のリーグにも大きな期待が持たれるであろう。

得	【ビク】		【ブ工】	得
0	鈴木	GK	山本	0
0	塙	GK	屋比久	0
4	加藤	FP	岩井	0
4	穂積	FP	則武	1
1	小島	FP	宮平	1
0	斉藤	FP	植田	2
0	染谷	FP	山村	0
1	伊藤	FP	木下	0
0	岩城	FP	中川	2
0	寺村	FP	宮本	0
0	高橋	FP	岡山	0
0	池田	FP	川本	0
10	(4)	PT	(0)	6

（審・小松・安芸）

女子入れ替え戦

大和銀行がカムバック！

日本リーグ女子入れ替え戦は、11月25、26日、四日市市のジャスコ体育館で、北国重機、ムネカタ―大和の各2連戦が行われ、両ゲーム共僅少差の戦いになり、結果北国銀行の残留、大和銀行の返り咲きが決定した。

入れ替え戦　第1日

11月25日（土）ジャスコ体育館

第1試合

東京重機 10（5―3／5―6）9 北国銀行

前半、東京重機の動きが良くリード、後半北国銀行が追い上げ9―6とリードしたが残り10分東京重機の速攻で同点、残り30秒PTでリードし終了、追いつ追われつスピードのある好試合であった。

第2試合

東北ムネカタ 11（3―5／8―6）11 大和銀行

前半から後半の中頃迄大和銀行の動きも良くリードを保ったが残り10分頃からムネカタの清水選手のロングシュート速攻で1点差、残り1分30秒大和銀行に退場者が出、残り30秒でムネカタの速攻が決まり引き分けた。

入れ替え戦　第2日

11月26日（日）ジャスコ体育館

第1試合

北国銀行 10（6―4／4―5）9 東京重機

前日同様、追いつ追われつの好ゲームであったが実力同格とみられる両チームは多少チャンスにめぐまれた北国に今日の試合は分（へぶ）があった。東京重機は悲願の日本ハンドボールリーグ入をはたせず涙をのんだ。

第2試合

大和銀行 11（5―4／6―4）8 東北ムネカタ

前日同様両チームとも動きのある活発な試合はこびであったが前半、後半においしいムードで1点リードした大和銀行の勝となった。これで大和銀行は念願の日本ハンドボールリーグの再加入となった。

☆―☆―☆

☆―☆―☆―☆

第3回　日本ハンドボールリーグ　個人表彰

男子

得点王	○松本　義樹	（湧永薬品）	0.629
（次）	大原　真造	（大同特殊鋼）	
最多得点賞	○蒲生　晴明	（大同特殊鋼）	115点
（次）	佐藤　要二	（本田技研鈴鹿）	99点

ベストセブン

GK	柴田　正章	（本田技研鈴鹿）
FP	蒲生　晴明	（大同特殊鋼）
FP	中井　武三	（大同特殊鋼）
FP	穂積　豊彦	（湧永薬品）
FP	津川　昭	（湧永薬品）
FP	佐藤　要二	（本田技研鈴鹿）
FP	福井　稔	（大阪イーグルス）

女子

得点王	○伊藤　珠美	（日本ビクター）	0.611
（次）	加藤美起子	（日本ビクター）	0.457
最多得点賞	○松下　仁美	（ジャスコ）	69点
（次）	加藤美起子	（日本ビクター）	60点

ベストセブン

GK	山本　福代	（プラザ工業）
FP	加藤美起子	（日本ビクター）
FP	穂積美保子	（日本ビクター）
FP	松下　仁美	（ジャスコ）
FP	平下　涼子	（立石電機）
FP	島田さゆり	（日立栃木）
FP	山際　正美	（北国銀行）

※　得点王は，得点率（シュート数に対する得点の率）の最高位者，ペナルティースローを除く，選考対象者は，全競技での得点の多い順に10位までとする。

第三回　日本ハンドボール・リーグ　（昭和５３年度）　　　　昭和５３年１１月１２日　最終結果　　　日本ハンドボール・リーグ運営委員会

（参　考）　　　　（参　考）

＜男　子＞	第３回　前　期							第３回　後　期							湧永	大同	本田	三景	イーグルス	大崎	日新	三陽	総　合　成　績							
	勝	敗	分	勝点	得点／失点	差	順位	勝	敗	分	勝点	得点／失点	差	順位									勝	敗	分	勝点	同点チーム間	得点／失点	差	順位
湧永薬品	6	1	0	12	171／105	+66	2	6	1	0	12	168／94	+74	2		●16－19 ●14－17	○22－13 ○19－14	○28－17 ○23－10	○16－15 ○25－16	○29－14 ○31－14	○30－13 ○27－12	○30－14 ○29－11	12	2	0	24		339／199	+140	2
大同特殊鋼	7	0	0	14	170／112	+58	1	7	0	0	14	187／108	+79	1	○19－16 ○17－14		○23－15 ○19－16	○27－21 ○28－17	○23－16 ○28－17	○26－13 ○25－11	○22－14 ○35－17	○30－17 ○35－16	14	0	0	28		357／220	+137	1
本田技研鈴鹿	5	2	0	10	147／114	+33	3	4	3	0	8	155／125	+30	3	●13－22 ●14－19	●15－23 ●16－19		○23－10 ○27－13	○23－14 ○25－16	○26－15 ○23－19	○16－13 ●21－25	○31－17 ○29－14	9	5	0	18		302／239	+ 63	3
三　　景	1	5	1	3	122／160	⊖38	7	1	6	0	2	101／151	⊖50	7	●17－28 ●10－23	●21－27 ●17－28	●10－23 ●13－27		●15－27 ●13－18	○22－17 ○18－17	●16－17 ●13－17	△21－21 ●17－21	2	11	1	5		223／311	⊖ 88	8
大阪イーグルス	2	5	0	4	132／138	⊖ 6	5	3	4	0	6	126／150	⊖24	5	●15－16 ●16－25	●16－23 ●17－28	●14－23 ●16－25	○27－15 ○18－13		○25－17 ●17－25	●17－24 ○20－17	●18－20 ○22－17	5	9	0	10		258／288	⊖ 30	5
大崎電気	2	5	0	4	121／167	⊖46	6	1	6	0	2	120／150	⊖30	8	●14－29 ●14－31	●13－26 ●11－25	●15－26 ●19－23	●17－22 ●17－18	●17－25 ○25－17		○26－23 ●17－18	○19－16 ●17－18	3	11	0	6		241／317	⊖ 76	7
日新製鋼	3	4	0	6	126／145	⊖19	4	4	3	0	8	131／151	⊖20	4	●13－30 ●12－27	●14－22 ●17－35	●13－16 ○25－21	○17－16 ○17－13	○24－17 ●17－20	●23－26 ○18－17		○22－18 ○25－18	7	7	0	14		257／296	⊖ 39	4
三陽商会	1	5	1	3	123／171	⊖48	8	2	5	0	4	115／174	⊖59	6	●14－30 ●11－29	●17－30 ●16－35	●17－31 ●14－29	△21－21 ○ 21－17	○20－18 ●17－22	●16－19 ○18－17	●18－22 ●18－25		3	10	1	7		238／345	⊖107	6

＜女　子＞	第３回　前　期							第３回　後　期							ビクター	立石	ブラザー	ジャスコ	日立	大崎	ムネカタ	北国	総　合　成　績							
	勝	敗	分	勝点	得点／失点	差	順位	勝	敗	分	勝点	得点／失点	差	順位									勝	敗	分	勝点	同点チーム間	得点／失点	差	順位
日本ビクター	6	1	0	12	108／69	+39	1	6	1	0	12	119／55	+64	1		○16－10 ○14－9	○16－12 ○10－6	○12－10 ●12－13	●12－13 ○11－6	○21－10 ○21－6	○16－4 ○36－6	○15－10 ○15－9	12	2	0	24		227／124	+103	1
立石電機	4	3	0	8	86／94	⊖ 8	4	4	2	1	9	86／81	+ 5	4	●10－16 ● 9－14		● 8－17 △14－14	●12－19 ●12－16	○13－11 ○13－10	○15－14 ○17－11	○15－10 ○11－8	○13－7 ○10－8	8	5	1	17		172／175	⊖ 3	4
ブラザー工業	4	2	1	9	93／74	+19	3	5	1	1	11	92／64	+28	2	●12－16 ● 6－10	○ 17－18 △14－14		△13－13 ○ 11－10	○14－12 ○14－10	●10－11 ○16－6	○14－3 ○18－6	○13－11 ○13－8	9	3	2	20		185／138	+ 47	3
ジャスコ	5	1	1	11	109／66	+43	2	5	1	1	11	97／73	+24	3	●10－12 ○13－12	○19－12 ○16－12	△13－13 ● 10－11		○ 13－7 △11－11	○21－6 ○13－5	○24－9 ○18－7	○ 9－7 ○16－15	10	2	2	22		206／139	+ 67	2
日立栃木	3	4	0	6	85／79	＋ 6	6	1	4	2	4	77／77	0	6	○13－12 ● 6－11	●11－13 ●10－13	●12－14 ●10－14	● 7－13 △11－11		● 11－12 △11－11	○17－5 ○19－6	○14－10 ●10－11	4	8	2	10		162／156	+ 6	6
大崎電気	4	3	0	8	81／96	⊖15	5	1	5	1	3	60／91	⊖31	7	●10－21 ● 6－21	●14－15 ●11－17	○11－10 ● 6－16	● 6－21 ● 5－13	○ 12－11 △11－11		○16－7 ○16－7	○12－11 ● 6－7	5	8	1	11		142／188	⊖ 46	5
ムネカタ	0	7	0	0	43／114	⊖71	8	0	7	0	0	41／134	⊖93	8	● 4－16 ● 6－36	●10－15 ● 8－11	● 3－14 ● 6－18	● 9－24 ● 7－18	● 5－17 ● 6－19	● 7－16 ● 7－16		● 5－12 ● 1－16	0	14	0	0		84／248	⊖164	8
北国銀行	1	6	0	2	68／81	⊖13	7	3	4	0	6	74／71	+ 3	5	●10－15 ● 9－15	● 7－13 ● 8－10	●11－13 ● 8－13	● 7－9 ●15－16	●10－14 ○11－10	●11－12 ○ 7－6	○12－5 ○16－1		4	10	0	8		142／152	⊖ 10	7

全日本学生選手権大会　男子第21回　女子第14回　結果報告

昭和53年12月5日(火)〜12月9日(土)　於　千駄谷・東京都体育館

第一回戦

▼男子

筑波大 37（16−6／21−5）11 福井大

前半立上がり福井大はコンビが合わず単調な攻撃展開で攻め手に欠き、またミスが多く目立ち筑波大の速攻を許すところとなった。
後半に入ってからも、本来の調子を取り戻すことができないまま筑波大に安易に点を許し、大敗してしまった。

名城大 23（11−6／12−4）14 順天堂大

サウスポーのエース鈴木（康）を中心とする名城は。セット力に優れロング、ポスト、サイドと幅広い攻撃展開を見せた。一方の順天堂はエース岩尾一本に頼り過ぎてしまい総合力に優る名城に屈ってしまった。関東の一部リーグの一角が早くも崩れ去った一戦であった。

日体大 33（19−5／12−6）11 大阪大

前半立ち上り、阪大のパスの乱れからカットにより速攻を決め日体が先制、阪大もすぐに一点を返し開始早々観衆を湧かせたが、昨年の覇者日体は余裕のある落着いたゲーム展開で除々に阪大との点差を広げ、関東リーグNo.1の実力を見せた。

同志社大 21（11−10／10−10）20 中京大

互いに速いパスワーク、相手への早めのディフェンスで攻防を繰り返えし、一進一退のゲーム展開を見せる。
後半に入っても両チーム共に激しい攻防を繰り広げ、15分過ぎの同点からいっきに4点を連取した同大が、中京の追撃をかわし、勝ち星を得た。

国士館大 27（16−6／11−9）15 京都産大

立ち上がり5分京産は、サイドシュートによる先行で有利にゲームを進めるかに見えたが、国士館は5分過ぎ以降15分過ぎまでの間に、7連続得点を上げ、いっきに波に乗ってしまった。
後半に入って、京産は必至の追撃により、一進一退のゲーム運びとなるが、やはり前半の大差が物を言い国士館の快勝となった。

東京学大 22（9−6／13−13）19 愛知教大

前半学芸大は速攻、三つのPTでリードするも、愛教大もよく追い上げ9−6で終了。
後半に入っては両チーム互角に試合を進めたが、粘ばりに優る学芸大が愛教大を振り切った。

明治大 26（11−3／15−4）7 関西大

2番エース辻を中心に多彩な攻撃、そして固い防御と総合力に優る明治が関大を圧倒した。

九州産大 26（10−10／16−11）21 広島大

前半互いに本来の調子をやや崩しながらも一進一退の攻防で同点で終了。
後半に入り両チームともに持前のペースをつかみ攻防を繰り返えすが、シュート力に優る九州産大が着実に加点し、広島大との差を開けていった。

大阪経済大 23（13−5／10−9）14 仙台大

立ち上がりから相方共にミスが多く目立ったが、10分過ぎにようやく本来のペースを取り戻した大経大がいっきに加点し、追いすがる仙台大を振り切った。

中央大 31（12−6／19−8）14 東北学院大

前半立ち上がり相方に固さが目立ち5分間無得点のまま試合が進んだが、5分過ぎにPTでようやくペースをつかんだ中大は、エース由利を中心にボールがよく回り着実に加点。
後半に入ってからも、東北学院に攻め手にあと少しと言ったところで、逆に中大の持前の速攻を許してしまった。

久留米工大 25（12−7／13−8）15 北海道大

2番の楢原を中心によくまとまった久留米は、ロング、速攻と得点を重ねで前半を終了。
一方、後半北大はポストを中心とした細かいプレーと、久留米楢原をマンツーにつけて追撃したが総合力に優る久留米が快勝した。

早稲田大 28（14−10／14−3）13 九州大

前半立上がり早大はコンビが合わず単調な攻撃でミスを繰り返えし、10分まで4−2と九大にリードを許したが、それ以降持前のパワーで盛り返えし15分過ぎには6−4と逆点した。
後半は完全に波に乗った早大のペースとなり九大を圧倒。

大体大 16（10−7／6−8）15 慶応大

立ち上がりから慶大はゆっくりとした攻撃を展開、このため大体は自らのペースを崩されシュートのミスも多く前半をわずかにリード。後半に入っても慶大のペースは変わらず大体のスキをついて加点残り2分前には15−15の同点とするが、終了6秒前に大体は劇的なフリースローを決め慶大を振り切った。

中央大 31（12−6／19−8）14 東北学大

中大は長身を利してのパワフルな攻撃展開で、東北学院のディフェンスを翻弄、また速攻でもミスの無い確実なシュートで加点、相手につき入るスキを与えず快勝し予想通り二回戦へ進出した。

山口大 32（13−6／19−15）21 金沢大

山口大は立ち上がり、たたみかける様な攻撃で金沢大を圧倒、前半で勝負を決める。

日本大 50（21−6／29−4）10 近畿大

この試合インカレ始まって以来の大量得点で日大が近大を圧倒した。攻め手に事欠く近大のミスより速攻に逆転した日大の楽勝であった。【参考…前回は51年中大が上げた42点が最高であった】

▽女子

九州女子大 18（10－1／8－5）6 岐阜大

総合力に優る九州女子は帰陣の遅れ気味の岐阜に速攻で得点を重ねる。一方岐阜は、固い九州女子の守りを崩し切れず、わずかにPTの1得点で前半を終了。

後半に入り元気さを取り戻した岐阜であったが、やはり九州女子の総合力の前に屈ってしまった。

山口大 12（6－4／6－6）10 福岡大

前半立ち上がり福岡は、山口のミスから3点を連取、いっきに攻め入ると思われたが、5分過ぎ以降得点無く、この間にペースを取り戻した山口が着実に得点を上げ6－4で前半を終了。

後半、18分福岡は5番梅島のゴールで一点差に追いつき、それ以降点を返すも、山口大8番牛尾の連取により、そのまま逃げ切られてしまった。

大阪成蹊女短大 19（11－3／8－12）15 都留文化大

前半、成蹊が速攻でペースを握り11－3で都留文化を圧倒、しかし後半に入って、都留文化は成蹊の二名同時の退場者のスキをついて11番甘利らにより反撃に転じたが、ディフェンスの甘さから成蹊に3つのPTを許し惜敗した。

筑波大 16（9－3／7－1）4 大阪教育大

前後半を通して大阪教大にやや活気が足りない様であったが、やはりシュート力に優る筑波が2番森戸を中心に着実に加点、ディフェンスにおいては殆んど大教大の攻撃を封じ、圧倒した。

中京大 9（7－7／延長 2－0）7 茨城大

相方共に攻守にコンビが合わずミスの目立つゲーム展開となったが、同点で進んだゲーム終了間際中京がPTを得て決定的な勝ち越し点になると思われたが得点ならず延長戦に入る。

延長に入り中京はロング、サイドと連取し、試合を決定させた。

第二回戦

▼男子

明治大 18（8－9／10－8）17 久留米工大

前半長身の檜原にボールを集め粘り強い攻撃を繰り返す久留米に対し、明治は単調な攻撃でシュートミスが多く苦戦を強いられる。

しかし後半に入っては、檜原に頼り過ぎの久留米に、全員のコンビネーションプレーで対戦する明治が辻らを中心に着実に加点、終了際辻のPTゴールで辛くも久留米を振り切った。

国士館大 22（10－8／12－5）13 東芸大

二回戦で早くも関東勢同志の対戦。前半学芸大はゆっくりしたボール回しから相手ディフェンスのミスを誘い着々と加点、一方国士館は早いボール回しから攻撃をしかけるが相手に読まれ苦戦する。

後半に入っては、持前の速攻に冴えを見せた国士館が学芸大の追撃を振り切って圧倒し、三回戦へと進んだ。

中央大 23（9－10／14－9）19 大阪体育大

関西リーグ一位の大体大と関東リーグ二位の中大の激突。前半開始早々から予想通りの激しい攻防が続き観衆を湧かせたが、一点の大体大リードで終了。

後半立ち上がり中大西川のサイドシュートで同差とした後も由利の連取等により7分過ぎには、14－12と逆点し、その後相方共に激しい得点争いによるゲーム展開となったが、着実に得点を重ねる中大が、関西の覇者大体大を振り切り三回戦へと駒を進めた。

法政大 31（16－5／15－10）15 九州産大

法大はサイド、ポスト、ロングシュートと多彩な攻撃展開により九産大ディフェンスを崩し着々と加点、一方の九産大は執拗に攻撃をしかけるも法大の固いディフェンスにはばまれ、なかなか追加点を上げることができず大きく法大に差を開けられて前半を終了。

後半に入り、よく走り法大陣内のスキを突いて加点をするも、前半の差により余裕のある法大が九産大を圧した。

名城大 20（9－5／11－5）10 大経大

前半立ち上がりから中盤まで双方共にGKの巧守によりわずかに大経大が3－2とリード、その後名城が本来のペースで安藤らを中心に着々と加点、4点リードで後半に折り返えす。後半に入っては増々波に乗る名城が大経を15分過ぎまで無得点に押さえ快勝した。

日本大 47（24－7／23－10）67 山口大

山口大は開始早々、日大ディフェンスのリズムに乗れないスキをつき好スタートを切ったが、その後シュートに工夫が足りなく逆に日大の猛攻にあい、大敗を期ってしまった。

日大は無駄のない動きと正確なシュートにより実に47点を上げた。

日体大 24（15－7／9－8）15 早稲田大

早大は立ち上がりエース吉見により3点を連取、期待通りのゲーム展開が予想されたが、前半なかばより日体の猛攻が始まり得意の速攻等で25分過ぎには11－5とあっさりとリードを奪う。

後半は互角にゲームを進めたが早大には前半中盤過ぎの失敗が非常に痛手であった。

筑波大 32（15－10、17－1）11 同志社大

上がりから元気の無い同大し、筑波大は長身を利したそつない攻撃展開で次々と加点、同大に息つく暇を与えず前半で大差となってしまった。

この試合地力に勝る筑波がシュート力で同大を圧倒した内容。

武庫川女子大 32（16－1、16－1）2 北海道教育大

北海道教大は終始武庫川の厚いディフェンスを破ることが出来ず前半蝦名の1点、後半小野の1点のわずか2得点にとどまった。

一方の武庫川は固いディフェンスからの持前の速攻で楽に試合を展開、大勝となった。

▽女子

日体大 29（12－8、17－4）12 九州女子大

日体大は立上ちがりから速いパス展開でよく走り九女大ディフェンスのスキを突き着々と加点。一方九女大は日体大のスピードについて行くことができず、攻撃にももう一工夫無かったことから5大量点を許したが、時折見せる素晴しいプレーで場内を湧かせた。

結果から日体大の圧勝であったが、内容のある面白いゲームであった。

東京学芸大 27（16－3、11－3）6 山口大

東学大は再三再四、調和のとれたコンビネーションプレーで山口大を圧倒、守っては固いディフェンスが山口大の攻撃を殆んど寄せつけず快勝した。この試合山口大に攻防両面においてもう一工夫欲しかった。

中京女子大 14（6－4、8－4）8 大阪成蹊女子短大

前半立ち上がり中京女は5番松下のシュートで2点連取。その後成蹊は、中京女の松下をマンツーで押え互角に試合を進める。

しかしながら、やはり地力に優る中京女が成蹊を終始リードし4番鈴木らの活躍により着々と加点し快勝した。

東京女子体育大 11（3－2、8－1）3 筑波大

前半互いにディフェンスを固め両者互角にゲームを進めたが、後半に入ってからは、筑波のディフェンスの乱れに乗じて東女体大が着実に加点、追いすがる筑波を振り切った。

大阪体大 11（9－9、延長 2－1）10 中京大

両者互角に渡り合い延長戦にもつれ込む好試合を展開。

延長に入っても両チーム共に譲らず激しい攻防となるが、終了間際15番辰巳による得点で、辛くも大体大が中京大を振り切った。

日本女子体大 21（8－2、13－1）3 京都教育大

日女体は京教大のディフェンスの乱れからカットインでPTを得て得点、また京教大のシュートミスによるリバウンドボールを速攻に結びつけるなど、確実なプレーで加点をし、京教大を大きく引き離した。

愛知教育大 19（8－4、11－2）6 福岡教育大

愛教大は相手のパスミスから速攻により先取した後、リバウンドボール、シュートカット等のうまいボール処理により得点に結びつけて行ったが、一方の福教大はセットからのブロックプレー等でチャンスをつかみながらシュートが弱く得点に結びつけることができないのが敗因であった。

第三回戦

▼男子

日体大 16（8－8、8－6）14 筑波大

関東リーグ一部同志の対戦。互いに手の内を十分に知りつくしており、筑波は西山を中心にセット攻撃、一方の日体は速攻を中心に一進一退のゲームを展開する。

後半に入り筑波ディフェンスに乱れが出て日体に連続4本のPTを与えてしまったのが筑波の最大の敗因であったと言える。

中央大 28（16－8、12－12）20 法政大

この試合もまた互いに手の内を知りつくした関東勢の対戦、ベスト4を賭けての激しい攻防が繰り広げられる。中央は前半終了4分前から連続3得点の速攻を決め、4点リードで後半に折り返えす。

後半に入って法政は調子を戻し10分過ぎには2点差につめ寄り、その後中央のエース由利をマンツー気味にしての布陣を敷くが、かえって中途半ぱのディフェンスとなり、逆に中央にスキをつかれ傷を深めてしまったのが敗因となる。

名城大 23（13－10、10－9）19 明治大

名城は鈴木（康）を中心に、一方の明治は辻を中心のオフェンスで対抗、互いに激しい得点争いとなる。結果は前半の差がそのまま勝敗の分れ道となったが、もう少し、双方の守りに工夫が欲しかった。しかしこの試合、名城の鈴木（康）の12得点は大きく光っていた。

日本大 16（9－5、7－9）14 国士館大

前半立ち上がり、日大は国士館大のディフェンスのリズムの乱れをついて、連続6得点を上げ、完全にゲームの主導権を握ってしまった。後半は逆に調子を取り戻した国士館大のペースで進み、16分過ぎには11－11の同点とし、観衆を大いに湧かせたが、その後地力に優る日大は山口（哲）を中心に得点をかさね、辛も国士館を振り切った。

▽女子

東女体大 30（12－5、18－7）7 愛知教大

東女体大の速い走りとコンビのとれたパスワークで愛知教大のディフェンスを崩し着実に得点、守っては愛知教大のシュートミスを誘い速攻に結びつけ、完全な東女体大のペースで試合が展開され、まれに見る大量得点で東女体大が圧勝した。

大阪体大 15（9－5、6－2）7 東京学大

大阪体大は速いボール回しと、ミドル、サイドシュートと多彩な攻撃展開で学芸ディフェンスを翻弄。一方の学芸も互角に走ってよく攻めるが、シュートに力が無くパワーに優る大阪大の前に屈してしまった。

日女体大 12（6－3、6－3）6 中京女大

両チーム共に早い攻撃と激しい守りで終始ゲームが展開されたが結局中京側にパス、キャッチ、シュートなどのミスが多く見られ、確実性のある攻撃を展開した日女体大が快勝した。

日体大 16（12－12、延長 4－1）13 武庫川女大

予想通りの大接戦となり互いに

新発売「ハンドボールスペシャル」

世界を制したスペシャル・ラバーシェルソールとは!?

●adidas は世界のスポーツシューズ総合メーカーです。●adidas の3本線はオリジナルです。



ヒールカウンター

adidas の発明、ヒールカウンターはタフな素材でショックや危険からヒールを守り、下肢を支え、3本線とともに素晴らしい一体感を形成する大切な機能を果たしています。

Napoli

3155ナポリ
(赤×白) ¥7,500
●モデル「アテネ」の色違い



Athen

3150アテネ
(青×白) ¥7,500
●ベロアレザー甲皮
●シェルソール





3本線

adidas のスポーツ力学、整形学を集大成したユニークなアーチサポーター「土踏まず」を深々と抱えこみ、これ以上ありえないと評価される足との一体感を約束します。



■ベロアレザー甲皮。つま先、かかと強化。
■スペシャル・ラバーシェルソールは、3つの吸盤とストップ、回転グリップ、各機能をもつ3ゾーンにわかれ、床を正確に、そして安定感ゆたかにとらえ、その結果、あなたは、スピードとパワーに乗った大胆なプレーを、狙い通りに決められます。また、このソール構造は、関節への衝撃からくる傷害を防ぎます。
■つま先部には、9個の通気孔があり、靴内の熱気からくる疲れを抑えました。靴舌にも通気孔を採用。
■足首、かかと、靴舌に、はきごこちを高めるパッドを採用。

Hand ball Special

(青×白) ¥19,000



adidas®

ま、すべてのスポーツマンに
3本線のNo.1感覚を。

●お求めは adidas 特約店で。



総代理店 兼松江商株式会社　発売元 兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431 〒101 東京都千代田区内神田1 11 13(楠本ビル) ☎03-295-5611

譲らず激しい攻防となったが、前半を7—6のわずかに1点リードで後半を迎える。後半に入っても互いに激しい攻防を繰り広げ、逆に一点を武庫川がリードして終盤を迎えたが、1分前日体は武庫川PTを奪い延長戦へともつれ込んだ。

延長は波に乗った日体は相手のミスからの速攻得点で振り切った。

準決勝

▼男子

日体大 21（10—11 11—6）17 中央大

前半は日体の速攻、中大の遅攻と双方共に持ち前の攻撃展開により互角にゲームを進める。

後半に入ってからは、双方共にやや前半よりも動きが固くなり5分近くまで無得点のまま進んだ。5分過ぎより互いに調子を取り戻し、18分日体は辻本の速攻による得点で初めてリードを奪い、その上20分中央が絶好のPTをはずしペースを狂わせ、日体は増々波に乗り着々と加点。追いすがる中央を振り切り決勝へと駒を進めた。

【中央】		得
GK	岩木	0
GK	鷲巣	0
FP	由利	7
FP	高山	1
FP	新谷	2
FP	和智	3
FP	植木	3
FP	藤井	0
FP	小柳	0
FP	松原	0
FP	田口	0
FP	森	1
		17

（審・大塚 近藤）

【日体】		得
GK	本田	0
GK	井藤	0
FP	越前	4
FP	船木	3
FP	辻本	6
FP	松井	3
FP	坂本	4
FP	長野	0
FP	伊藤	1
FP	名嘉	0
FP	阿部	0
FP	工藤	0
		21

【PT】日体 越前1 松井1
中央 由利1 植木1

日本大 22（10—9 12—6）15 名城大

長身者を揃え直線的に力で攻める日大に対し、巧みなパスワークでじっくり攻める名城の対戦。前半立ち上がりやや雑な攻撃の目立つ日大に対し、名城はそのスキを突いて得点、20分過ぎまで7—6と名城がリードを奪ったが、その後日大のパワフルなシュートが決まり出し終了間際に逆転。

後半に入っては、増々波に乗った日大が、長身を利しての攻撃で名城ディフェンスを崩し、決勝戦へ快進した。

しかしながらこの試合、名城大エース鈴木（康）のPTを含む8得点は賞賛されよう。

【名城】		得
GK	松井	0
GK	松倉	0
FP	鈴木康	8
FP	江崎	0
FP	鈴木輝	1
FP	安藤	5
FP	瀬島	0
FP	榊原	1
FP	各務	0
FP	中村	0
FP	玉井	0
FP	纐纈	0
		15

（審・岡本 清水）

【日大】		得
GK	大畑	0
GK	門脇	0
FP	山口剛	3
FP	倉田	0
FP	山口哲	5
FP	高梨	4
FP	仲田	4
FP	早坂	0
FP	水島	0
FP	金岡	0
FP	大鐘	3
FP	堀越	3
		22

【PT】名城 鈴木康3

◎男子五位決定戦

明治大 16（8—5 8—6）55 国士舘大

前半両チームともミスが目立ち8対5で明治3点リードでゲームを終了し後半に入ってから一進一退のゲームとなったが、25分明治の2番辻がPTを2点連取し勝負をきめインカレ5位を確定づけた。

【国士】		得
GK	新垣	0
GK		
FP	関本	0
FP	藤村	1
FP	草野	2
FP	鎌田	3
FP	佐藤順	0
FP	佐藤昌	1
FP	三本松	4
FP	古関	0
FP	栗田	0
FP	柳川	0
		11

（審・岡本 清水）

【明治】		得
GK	鈴木	0
GK	杉山	0
FP	辻	6
FP	松本	1
FP	伊形	2
FP	三上	4
FP	鶴川	2
FP	小出	0
FP	平井	0
FP	森重	1
		16

◎男子三位決定戦

中央大 28（11—9 17—11）20 名城大

前半3分名城安藤のロングで先行したが中大エース由利もロングがよく決まり接戦としたが、20分中大は連取し差を広げるかにみえたが、名城鈴木のカットインでくいつき後半にもちこんだ。しかし後半由利にマンツーマンの作戦に出たが連攻が決まり出しゲームは決定した。

【名城】		得
GK	松井	0
GK	松倉	0
FP	鈴木康	8
FP	江崎	0
FP	鈴木輝	3
FP	安藤	5
FP	瀬島	2
FP	榊原	0
FP	各務	0
FP	中村	1
FP	玉井	1
FP	纐纈	0
		20

（審・三枝 青木）

【中央】		得
GK	岩本	0
GK	鷲巣	0
FP	由利	15
FP	高山	1
FP	新谷	5
FP	和智	2
FP	森	2
FP	植木	2
FP	小柳	0
FP	松原	0
FP	田口	0
FP	猪野	1
		28

▽女子

日女体大 12（7—5 5—5）10 日体大

前半15分まで日体が先行するシーソーゲームであったが、15分以降は日女体が3点連取し、日女体の2点リードで後半に入る。

後半に入っては、互いのスキの探り合いから一進一退の攻防が繰り広げられたが、途中4名の退場者を出しながらも日体に加点を許さなかった日女体大が日体を押し切り勝利をおさめた。

【日体】		得
GK	稲葉	0
GK	岩野	0
FP	坂村	1
FP	田口	2
FP	新原	0
FP	源	1
FP	梅山	0
FP	戸栗	0
FP	矢野	3
FP	石島	0
FP	鈴木	0
FP	石井	3
		10

（審・後藤 島田）

【日女】		得
GK	鏡	0
GK	管原	0
FP	梅木	2
FP	山田	2
FP	江畑	1
FP	佐々木	3
FP	佐瀬	1
FP	郷	0
FP	塚田	0
FP	鈴木	3
FP	佐々木	0
FP	石井	0
		12

【PT】日女 梅本2 鈴本2
日体 矢野2

東女体大 29（15—5 14—2）7 大阪体大

走力に勝る東女体大の前に大阪体大のディフェンスは翻弄され、また東女体は守っても大体大の攻撃を殆んど寄せ付けず、終始一方的なゲーム展開で東女体が圧倒的な勝利をおさめた。またこの試合東女体の磯山はPTを含む16点をたたき出し男子顔負けの大量得点を上げた。

【大体】		得
GK	柴田	0
GK		
FP	大竹	1
FP	加藤	2
FP	野村	0
FP	浅井	2
FP	岡田	0
FP	田辺	0
FP	戸村	1
FP	福田	1
FP	中里	0
FP	辰巳	0
		7

（審・岡本 清水）

【東女】		得
GK	横田	0
GK	高松	0
FP	古賀	0
FP	水野	1
FP	磯山	16
FP	川波	5
FP	酒井	0
FP	石橋	0
FP	小野森	0
FP	坂本	4
FP	浜村	0
FP	藤本	3
		29

【PT】東女 磯山8 藤本1

◎女子三位決定戦

日体大 17（7—5 10—3）8 大体大

攻撃テンポ、型共に似たチーム同志の対決であったがポストプレーでまさる日体大が前半をリード後半ストリングを繰り返す大体大であったが帰陣のおそい日体大から速攻で2点連取するも、一歩のところでミスが出、追撃ならず、日体大の地力に屈した。

【大体】		得
GK	柴田	0
GK		
FP	大竹	0
FP	加藤	2
FP	野村	2
FP	浅井	2
FP	岡田	0
FP	田辺	0
FP	戸村	1
FP	福田	1
FP	中里	0
FP	辰巳	0
		8

（審・浅田 細井）

【日体】		得
GK	稲葉	0
GK	岩野	0
FP	坂村	3
FP	田口	2
FP	新原	1
FP	源	0
FP	梅山	3
FP	戸栗	3
FP	矢野	4
FP	鈴木	0
FP	石井	1
FP	大崎	0
		17

【PT】

◎男子決勝

日体大 25（11—6 14—5）11 日本大

日体は、開始早々坂本の速攻で先取点をあげ一気にリズムにのり

テーマは「人間と機械」

「機械にできることは機械にまかせ、人間はより創造的な分野での活動を楽しむべきである」……これが立石電機のモットーです。


技術の原点オートメーション機能部品


産業用無人化システム


都市の交通制御システム

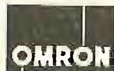

鉄道の駅務自動化システム


銀行の窓口省力化システム


ガソリン・スタンドのPOSシステム


オフィスのコンピュータ・システム


小売店頭の電子レジスター



立石電機

立石電機株式会社／本社
〒616 京都市右京区花園土堂町10
TEL 075(463)1161大代



“まごころのおつきあい”が
私たちのモットーです



あなたの銀行

北國（ホッコク）銀行

●本店　石川県金沢市下堤町　●店舗　石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・102か店

予想外の一方的な展開になった。後半に入っても日体の速攻ペースはくずれず4点を連取し、5分には15−6と早々に勝敗を決定し、日体の実力勝ちで、日大得意のポストプレーが出せなかった。

【日大】

	選手	得
GK	大畑	0
	門脇	0
FP	山口	0
	倉田	0
	山口哲	1
	高梨	3
	仲田	4
	早坂	0
	水島	0
	金岡	2
	大鐘	0
	堀越	1
		11

【日体】

	選手	得
GK	本田	0
	井藤	0
FP	工藤	2
	源野	2
	越前	3
	船木	2
	辻本	6
	松井	4
	坂本	5
	長野	0
	伊藤	1
	阿部	0
		25

（審・後藤 大塚）

【PT】

◎女子決勝

東女体大 11（5−2 6−5）7 日女体大

前半18分まで互角の攻防を繰り返えしたが20分東女は速い動きで日女の反則をさそいPTをものにし5対2と3点リードした。後半に入り日女山田のスタンディングなどで2点連取したが追い上げむなしく東女得意の速攻プレーをきめられ始めての決勝をものにできなかった。

【日女】

	選手	得
GK	梅本	0
	石井	0
FP	山田	2
	江畑	0
	佐々木	0
	佐瀬	3
	郷	0
	鏡	0
	塚田	0
	鈴木	2
	佐々木	0
	菅原	0
		7

【東女】

	選手	得
GK	横田	0
	高松	0
FP	古賀	1
	水野	0
	磯山	5
	川波	1
	酒井	0
	石橋	0
	小野森	0
	坂本	1
	浜村	1
	藤本	2
		11

（審・岡本 清水）

ベストセブン

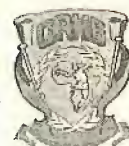
▼男子

GK	井藤　英待	（日体大二年・初）
FP	鈴木　康正	（名城大四年・初）
同	由利　淳	（中央大四年・初）
同	山口　剛之	（日本大四年・初）
同	松井　幸嗣	（日体大三年・③）
同	辻本　孝仁	（日体大四年・初）
同	工藤　昭彦	（日体大四年・初）

▽女子

GK	横田由美子	（東女体四年・②）
FP	磯山久美子	（東女体三年・初）
同	川波　理子	（東女体三年・②）
同	江畑　照子	（日女体三年・初）
同	鈴木真理子	（日女体二年・初）
同	坂村　紀子	（日体大四年・初）
同	福田　知子	（大体大三年・初）

〃モルテンハンドボールがアフリカハンドボール連盟（CAHB）の唯一の公式試合球に決定!!〃



モルテンゴム工業（本社・広島市横川新町1−8　社長・民秋史也氏）は、この程アフリカ・ハンドボール連盟と独占契約を結び、アフリカ大陸内で開催される男女ハンドボールの全ての公式試合に於て、モルテンのハンドボールが唯一の大会指定球として使用されることになった、と発表した。

ハンドボールはバレエ、サッカー等と共にアフリカ大陸内でも盛んな競技であり、また、国際ハンドボール連盟がモルテンの貼ハンドボールを世界で唯ひとつの公認球としても認めており、ここでもモルテンの最高品質のハンドボールが使用普及されることになった。

〃4つのボールに世界の公認〃は世界で同社だけであり、先だって同社のハンドボールがアフリカ・バレーボール連盟の唯一の公式試合球に決定したことに続く第2弾の快挙である。

パルパル エブリボディ。



5タイプそろったホンダのパルシリーズ。乗りやすさは共通。お好きなタイプが選べます。

ロードパルの仲間たちが、たくさん走りはじめています。あの道、この道が、急にバラエティ豊かになりました。スタイルいろいろ。色とりどり。乗る人の個性と、パルの個性が…なぜかぴったり合うのです。5タイプそろったパルのうち、あなたのお気に入りはどれですか。もちろん、やさしさ・乗りやすさは、みんなおなじ。気軽にどこかへ散歩、としゃれてみたくなります。

パルはユニーク。新しい仲間も、個性たっぷり。
●パルフレイ：エレガントなデザイン。乗り降りのラクなU字フレーム(車体中央)。泥ハネから足もとを守るレッグシールドなど親切設計が特長。●パルホリデー：ユニークなヒップアップ・シート。しゃれた感覚のバーハンドル。タウンで似合うバイクです。●パルディン：スリムなパイプフレーム、イキなクロームメッキ・フェンダーがナウな感じ。

ごぞんじですね、ラッタッタ。
ロードパル——標準現金価格 ¥59,800

クイックスタート、とってもべんり。
ロードパル-L——標準現金価格 ¥64,800

乗るかたへの心くばりがいっぱい。
パルフレイ——標準現金価格 ¥75,000

しゃれたスタイル、タウンで似合う。
パルホリデー——標準現金価格 ¥79,000

ヤングの感覚、ナウなフィーリング。
パルディン——標準現金価格 ¥79,000

ヘルメットをかぶろう **HONDA**

「私のパル」を持ちましょう。

パルスクール 原付免許の取り方だけでなく、正しい乗り方指導までも実施しているのが「パルスクール」の大きな特長。ていねいにご指導しています。



わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。

★パルスクールとクレジットの詳細は、ホンダ販売店でどうぞ。

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●TEL鈴鹿0593：78－1212〈代表〉

（秋季）各地学生リーグ結果

（53年10～11月）

関東学生リーグ

★男子1部

▼10月8日・駒沢体育館

日体大（3勝）	28	（16-9、12-4）	13	慶大（3敗）
早大（3勝）	23	（12-6、11-5）	11	中大（2勝1敗）
筑波大（2勝1敗）	18	（10-7、8-9）	16	法大（3敗）
日大（2勝1敗）	32	（17-5、15-6）	11	順天堂大（3敗）

得	【筑波】		【法大】	得
0	須波	GK	岩崎	0
0	酒井	GK	会田	0
2	白井	FP	吉田	3
1	小山	FP	宮本	5
0	堀越	FP	金田	2
0	山上	FP	鮫島	1
1	佐々木	FP	日野	0
9	滝口	FP	中嶋	2
0	秀永	FP	中越	0
0	松浦	FP	加藤	1
0	中野	FP	三浦	0
5	西山	FP	森本	2
18（2）		PT		（1）16

得	【早大】		【中大】	得
0	富沢	GK	岩木	0
0	譲原	GK	鷲巣	0
2	筏	FP	由利	2
0	加々見	FP	高山	0
0	中村	FP	新谷	2
7	吉見	FP	和智	1
0	神野	FP	森	0
0	舟橋	FP	植木	3
11	犬飼	FP	西川	0
1	武藤	FP	田口	0
0	三浦	FP	尾上	1
2	村崎	FP	猪野	2
23（0）		PT		（1）11

▼10月12日・駒沢体育館

慶大（1勝3敗）	19	（11-9、8-9）	18	早大（3勝1敗）
日体大（4勝）	21	（9-8、12-3）	11	中大（2勝2敗）

得	【慶大】		【早大】	得
0	加藤	GK	富沢	0
0	新谷	GK	菊島	0
3	野本	FP	筏	2
1	草皆	FP	加々見	0
7	常川	FP	中村	0
0	上西	FP	吉見	5
0	大村	FP	神野	0
0	意崎	FP	舟橋	2
4	加古	FP	犬飼	6
1	北川	FP	武藤	0
0	林	FP	三浦	0
3	炭本	FP	村崎	3
19（4）		PT		（3）18

得	【日大】		【中大】	得
0	井藤	GK	岩木	0
0	信貴	GK	鷲巣	0
3	工藤	FP	由利	4
2	越前	FP	高山	0
2	船木	FP	新谷	0
4	辻本	FP	和智	0
9	松井	FP	森	0
0	坂本	FP	植木	6
0	長野	FP	西川	1
1	伊藤	FP	尾上	0
0	岩本	FP	猪野	0
0	白木	FP	鈴木	0
21（2）		PT		（3）11

▼10月13日・駒沢体育館

筑波大（3勝1敗）	23	（12-8、11-7）	15	順天堂大（6敗）
日大（3勝1敗）	25	（11-11、14-5）	16	法大（4敗）

▼10月19日・駒沢屋内球技場

慶大（2勝3敗）	23	（11-4、12-11）	15	法大（5敗）
中大（3勝2敗）	31	（14-7、17-7）	14	順天堂大（5敗）
日大（4勝1敗）	27	（14-10、13-5）	15	早大（3勝2敗）
日体大（5勝）	21	（16-9、5-7）	16	筑波大（3勝2敗）

▼10月21日・駒沢屋内球技場

慶大（3勝3敗）	25	（11-9、14-10）	19	順天堂大（6敗）
中大（4勝2敗）	21	（13-9、8-9）	18	法大（6敗）
早大（4勝2敗）	20	（11-9、9-9）	18	筑波大（3勝3敗）
日体大（8勝）	24	（12-11、12-7）	18	日大（4勝2敗）

得	【日大】		【早大】	得
0	大畑	GK	富沢	0
0	門脇	GK	譲原	0
0	山口剛	FP	筏	4
3	今井	FP	加々見	0
4	堂尻	FP	中村	0
0	前島	FP	吉見	7
11	山口哲	FP	神野	0
4	高梨	FP	舟橋	0
5	仲田	FP	犬飼	3
0	金岡	FP	武藤	0
0	大鐘	FP	三浦	0
0	堀越	FP	村崎	1
27（7）		PT		（3）15

得	【日体】		【筑波】	得
0	井藤	GK	須波	0
0	信貴	GK		
1	工藤	FP	白井	2
3	越前	FP	小山	0
4	船木	FP	山上	0
7	辻本	FP	佐々木	1
4	松井	FP	西山	7
2	坂本	FP	高須	1
0	長野	FP	河野	2
0	伊藤	FP	滝口	1
0	名嘉	FP	秀永	2
0	阿部	FP	中野	0
21（3）		PT		（2）16

▼10月28日・駒沢屋内球技場

法大（5勝2敗）	19	（15-8、4-6）	17	順天堂大（7敗）
中大（5勝2敗）	26	（15-8、11-6）	14	慶大（3勝4敗）
筑波大（4勝3敗）	20	（9-6、11-5）	11	日大（4勝3敗）
日体大（7勝）	22	（12-9、10-9）	18	早大（4勝3敗）

得	【慶大】		【順天】	得
0	加藤	GK	塩原	0
0	新谷	GK	小野	0
2	保坂	FP	前嶋	6
4	野本	FP	工藤	5
4	草皆	FP	宮崎	5
4	常川	FP	北守	0
0	上西	FP	中村	1
1	大村	FP	岩尾	2
0	意崎	FP	石川	0
6	加古	FP	井登	0
3	北川	FP	藤本	0
1	炭本	FP	三尾	0
25（4）		PT		（4）19

得	【中大】		【法大】	得
0	岩木	GK	岩崎	0
0	鷲巣	GK	会田	0
7	由利	FP	吉田	1
2	高山	FP	宮本	5
4	新谷	FP	金田	3
3	和智	FP	鮫島	2
0	森	FP	日野	0
2	植木	FP	中越	4
2	西川	FP	加藤	0
0	小柳	FP	三浦	0
0	尾上	FP	森下	3
1	藤井	FP		
21（0）		PT		（0）18

得	【日体】		【日大】	得
0	井藤	GK	大畑	0
0	信貴	GK	門脇	0
2	工藤	FP	山口剛	1
0	源野	FP	今井	2
3	越前	FP	前島	0
5	船木	FP	堂尻	0
4	辻本	FP	山口哲	5
6	松井	FP	高梨	2
4	坂本	FP	仲田	6
0	長野	FP	金岡	1
0	伊藤	FP	大鐘	0
0	名喜	FP	堀越	1
24（3）		PT		（3）18

得	【早大】		【筑波】	得
0	宮沢	GK	須波	0
0	譲原	GK	酒井	0
2	筏	FP	小山	0
0	加々見	FP	山上	0
0	中村	FP	佐々木	3
9	吉見	FP	滝口	4
2	神野	FP	秀永	1
1	舟橋	FP	矢島	1
3	犬飼	FP	中野	0
1	武藤	FP	高須	0
0	三浦	FP	河野	3
2	村崎	FP	西山	6
20（0）		PT		（2）18

得	【中大】		【慶大】	得
0	岩木	GK	加藤	0
0	鷲巣	GK	新谷	0
11	由利	FP	保坂	7
3	高山	FP	野本	2
1	新谷	FP	草皆	2
4	和智	FP	上西	2
1	森	FP	山本	0
3	植木	FP	大村	0
2	西川	FP	意崎	0
1	小柳	FP	加古	1
0	田口	FP	林	0
0	猪野	FP	炭本	0
26	(3)	PT	(3)	14

男子勝敗表

	日体	中大	日大	筑大	早大	慶大	法大	順大	勝点	得失差
① 日体大	※	○	○	○	○	○	○	○	14	+40
② 中　大	●	※	○	○	●	○	○	○	10	+14
③ 日　大	●	●	※	●	○	○	○	○	8	+30
④ 筑波大	●	●	○	※	●	○	○	○	8	+14
⑤ 早　大	●	○	●	○	※	●	○	○	8	+5
⑥ 慶　大	●	●	●	●	○	※	○	○	6	−21
⑦ 法　大	●	●	●	●	●	●	※	○	2	−23
⑧ 順天大	●	●	●	●	●	●	●	※	0	−77

【順位】①日体大7勝②中大5勝2敗③日大4勝3敗④筑波大4勝3敗⑤早大4勝3敗⑥慶大3勝4敗⑦法大1勝6敗⑧順天堂大7敗（3、4、5位は得失点差による）

★女子1部

▽10月8日・駒沢体育館

筑波大（6勝）18（8—2、10—0）2 茨城大（5敗）

日女体大（4勝1敗）21（11—4、10—2）6 東学大（5敗）

東女体大（1勝）23（11—3、12—3）6 日体大（1勝3敗）

▽10月12日・駒沢体育館

日女体大（4勝2敗）20（11—6、9—3）9 東学大（6敗）

東女体大（6勝）20（11—7、9—3）10 日体大（2勝3敗）

▽10月13日・駒沢体育館

日体大（2勝4敗）11（5—6、6—3）9 筑波大（1勝6敗）

東女体大（7勝）21（8—6、13—4）10 東学大（7敗）

▽10月15日・駒沢体育館

日女体大（4勝3敗）18（8—2、10—1）3 茨城大（6敗）

得	【日女】		【東学】	得
0	鏡	GK	河角	0
0	菅原	GK	渡辺	0
0	奥富	FP	松田	2
0	小松	FP	白井	1
4	梅本	FP	斉藤	1
4	山田	FP	高橋	1
1	江畑	FP	山木	0
3	佐々木	FP	海野	0
1	佐瀬	（審・平井	前田	1
0	郷	佐野）	石井	0
8	鈴木		林	0
0	石井			
21	(5)	PT	(1)	6

得	【日体】		【筑波】	得
0	稲葉	GK	長島	0
0	武渕	GK	水島	0
3	坂村	FP	森戸	5
0	田口	FP	金長	2
0	源	FP	杉本	0
1	梅山	FP	野秋	0
1	戸栗	FP	藤岡	0
0	鈴木	FP	富山	1
2	矢野	（審・岡本	小林	1
1	石井	高野）	吉沢	0
3	大崎		土水流	0
0	後藤		小西	0
11	(2)	PT	(3)	9

得	【東女】		【日体】	得
0	横田	GK	稲葉	0
0	高松	GK	武渕	0
2	古賀	FP	坂村	4
0	水野	FP	田口	0
5	磯山	FP	源	0
4	川波	FP	梅山	0
0	酒井	FP	戸栗	1
0	大串	FP	矢野	0
0	小野森	（審・福井	鈴木	2
2	坂本	勝）	石井	1
3	浜村		大崎	1
4	藤本		後藤	1
20	(0)	PT	(2)	10

得	【日女】		【東学】	得
0	鏡	GK	河角	0
		GK	渡辺	0
0	奥富	FP	松田	0
0	小松	FP	白井	1
5	梅本	FP	斉藤	1
4	山田	FP	高橋	7
3	江畑	FP	山木	0
1	佐々木	FP	海野	0
3	佐瀬	（審・一宮	前田	0
0	郷	藤原）	西脇	0
4	鈴木		石井	0
0	石井		村	0
20	(5)	PT	(1)	9

得	【東女】		【日体】	得
0	横田	GK	稲葉	0
1	高松	GK	武渕	0
0	水野	FP	坂村	0
0	古賀	FP	田口	0
9	磯山	FP	源	1
3	川波	FP	梅山	0
0	酒井	FP	戸栗	2
0	大串	FP	矢野	2
0	小野森	（審・得丸	並木	0
1	坂本	清水）	石井	1
3	浜村		大崎	0
6	藤本		後藤	0
23	(3)	PT	(0)	6

▽10月21日・駒沢屋内球投場

▽10月19日・駒沢屋内球投場

日女体大（4勝4敗）21（11—1、10—0）1 茨城大（7敗）

東女体大（8勝）20（9—0、11—2）2 東学大（8敗）

筑波大（1勝7敗）12（7—6、5—3）9 日体大（3勝4敗）

東学大（1勝8敗）21（10—2、11—5）7 茨城大（8敗）

日女体大（4勝5敗）16（11—4、5—6）10 日体大（4勝4敗）

東女体大（9勝）11（5—3、6—5）8 筑波大（2勝7敗）

▽10月22日・東京学芸大グランド

東学大（2勝8敗）19（14—5、5—4）9 茨城大（9敗）

▽10月24日・駒沢第一競投場

日体大（5勝4敗）21（10—3、11—1）4 茨城大（10敗）

▽10月28日・駒沢屋内球投場

日体大（6勝4敗）14（6—6、8—7）13 日女体大（5勝5敗）

東女体大（10勝）18（11—4、7—5）9 筑波大（3勝7敗）

【順位】①東女体大10勝②筑波大7勝3敗③日体大6勝4敗④日女体大5勝5敗⑤東京学芸大2勝8敗⑧茨城大10敗

得	【筑波】		【日体】	得
0	長島	GK	稲葉	0
0	水島	GK	武渕	0
6	森戸	FP	坂村	0
2	金長	FP	後藤	0
0	杉本	FP	梅山	2
0	野秋	FP	戸栗	0
2	藤岡	FP	矢野	4
0	富山	FP	石島	1
1	小林	（審・本田	鈴木	0
0	吉沢	岡本）	並木	0
1	上水流		石井	2
0	小西		大崎	0
12	(5)	PT	(1)	9

男子ベストセブン

▽GK

井藤　英忠（日体大二年）②

▽FP

工藤　昭彦（日体大四年）②

松井　幸嗣（日体大三年）③

由利　淳（中大四年）③

山口　哲史（日大三年）初

白井　正彦（筑波大四年）初

吉見　昌憲（早大四年）③

得	【日女】		【日体】	得
0	鏡	GK	稲葉	0
0	菅原	GK	武渕	0
0	梅本	FP	坂村	1
2	山田	FP	田口	0
3	江畑	FP	梅山	1
5	佐々木由	FP	戸栗	0
1	佐瀬	FP	矢野	4
0	郷	FP	石島	1
0	佐々木美	FP	鈴木	0
5	鈴木	FP	石井	2
0	塚田	FP	大崎	1
0	石井	FP	後藤	0
16	(4)	PT	(3)	10

得	【東女】		【筑波】	得
0	横田	GK	長島	0
0	高松	GK	水島	0
0	古賀	FP	森戸	1
0	水野	FP	金長	0
5	磯山	FP	杉本	0
3	川波	FP	野秋	0
0	酒井	FP	藤岡	2
0	石橋	FP	富山	1
0	小野森	FP	小林	2
3	坂本	FP	吉沢	0
2	浜村	FP	上水流	3
5	藤本	FP	小西	0
18	(4)	PT	(0)	9

女子勝敗表

	東女	筑波	日体	日女	学芸	茨城	勝点
①東女体大	※	○○	○○	○○	○○	○○	20
②筑波大	●●	※	●○	○○	○○	○○	14
③日体大	●●	○●	※	●○	○○	○○	12
④日女体大	●●	●●	○●	※	○○	○○	10
⑤東学大	●●	●●	●●	●●	※	○○	4
⑥茨城大	●●	●●	●●	●●	●●	※	0

女子ベストセブン

▽GK
横田由美子（東女体四年）③

▽FP
古賀博子（東女体四年）初
磯山久美子（東女体三年）④
川波理子（東女体三年）④
藤本陽子（東女体二年）②
森戸由起子（筑波大四年）④
坂村紀子（日体大四年）②

★男子2部

▼10月1日・東海大体育館
東海大 20（11－10, 9－8）18 明星大

▼10月8日・駒沢体育館
横浜商大 27（13－8, 14－7）15 駒沢大
国士館大 25（15－8, 10－10）18 東学大

▼10月12日・駒沢体育館
立教大 23（12－9, 11－8）17 駒沢大
明星大 20（11－7, 9－7）14 横浜商大
明治大 18（9－10, 9－7）17 東海大

▼10月13日・駒沢体育館
東学大 19（9－9, 10－7）16 横浜商大
明星大 22（11－8, 11－11）19 立教大

▼10月15日・国士館大体育館
国士館大 25（13－2, 12－4）6 明星大

▼10月19日・駒沢屋内球投場
明星大 23（9－8, 14－6）14 駒沢大
東海大 20（7－7, 13－8）15 東学大

入れ替え戦

▼男子
法政大（1部7位）16（8－8, 8－6）14 明治大（2部2位）
順天堂大（1部8位）15（6－5, 9－8）13 国士館大（2部1位）
立教大（2部7位）18（10－9, 8－1）10 大東大（3部2位）
茨城大（3部1位）14（11－7, 3－2）9 駒沢大（2部8位）
東工大（3部7位）19（6－6, 13－9）15 横浜国大（4部2位）
芝浦工大（3部8位）21（13－6, 8－8）14 上智大（4部1位）
東京経大（5部2位）20（11－9, 9－6）15 武蔵工大（4部7位）
武蔵大（5部1位）24（16－13, 8－3）16 千葉工大（4部8位）

▽女子
茨城大（1部6位）10（4－4, 6－1）5 都留文大（2部1位）

関西学生リーグ

★男子1部

▼10月8日・関大体育館
関大（1勝）14（6－8, 8－5）13 近大（1敗）
大体大（1勝）15（8－5, 7－6）11 同大（1敗）
大経大（1勝）21（13－6, 8－5）11 京産大（1敗）

得	【大体】		【同大】	得
0	芝野	GK	西川	0
0	丸山	GK	堀内	0
0	門田	FP	増田	0
4	前田	FP	和田	0
0	藤井	FP	浅田	0
3	志賀	FP	大杉	4
0	川谷	FP	古川	1
2	小林	FP	栗屋	3
3	井上	FP	樫野	1
0	大崎	FP	川鴫	1
2	藤本	FP	神之田	1
1	砂川	FP		
15	(3)	PT	(1)	11

▼10月10日・大阪府大体育館
大阪大（1勝）17（8－9, 9－6）15 京産大（2敗）
大経大（2勝）20（10－7, 10－7）14 同大（2敗）
大体大（2勝）21（10－10, 11－5）15 近大（2敗）

得	【大体】		【近大】	得
0	芝野	GK	佐伯	0
0	丸山	GK	小島	0
2	門河	FP	岩田	0
3	前田	FP	高橋	0
2	藤井	FP	吉田	0
8	志賀	FP	山本	3
0	川谷	FP	松之内	3
1	小林	FP	北	0
5	井上	FP	吉成	0
0	大崎	FP	佐藤	6
0	山口	FP	宮本	0
0	藤本	FP	角	3
21	(2)	PT	(1)	15

▼10月15日・西京極体育館
京産大（1勝2敗）19（11－7, 8－6）13 関大（1勝1敗）
大阪大（2勝）21（14－7, 7－7）14 同大（3敗）
大経大（3勝）15（9－5, 6－5）10 近大（3敗）

得	【京大】		【関大】	得
0	石原	GK	伊藤	0
0	山下	GK	大羽	0
6	田中	FP	西井	2
3	林	FP	西田	3
6	木下	FP	岩崎	4
0	西	FP	辻川	1
0	松井	FP	西尾	1
2	田野	FP	谷岡	0
2	渡辺	FP	永見	0
0	市川	FP	森	0
0	杉山	FP	奥井	0
0	宮川	FP	島谷	2
19	(2)	PT	(3)	13

▼10月22日・大体大体育館
大阪大（3勝）26（10－10, 16－3）13 近大（4敗）
大経大（4勝）27（17－7, 10－9）16 関大（1勝2敗）
大体大（3勝）24（11－7, 13－7）14 京産大（1勝3敗）

▼10月29日・関大体育館
大体大（4勝）26（16－2, 10－5）7 関大（1勝3敗）

得	【関大】		【大経】	得
0	伊藤	GK	西川	0
0	大羽	GK	堀内	0
2	西井	FP	迫村	3
2	西田	FP	大杉	4
1	岩崎	FP	古川	0
3	辻川	FP	栗屋	3
1	西尾	FP	栗野	0
5	谷岡	FP	川島	0
0	永見	FP	神之田	1
4	島谷	FP	和田	0
0	森	FP	浅田	0
0	丸谷	FP		
18	(2)	PT	(0)	11

▼同・立命館大育館
同大（1勝3敗）16（10－6, 6－8）14 近大（5敗）
大経大（5敗）26（14－8, 12－7）15 大阪大（3勝1敗）

▼11月3日・大体大体育館
関大（2勝3敗）18（9－7, 9－4）11 同大（1勝4敗）

▼11月5日・同
京産大（2勝3敗）25（14－7, 11－6）13 近大（6敗）
大体大（5勝）23（10－11, 13－5）16 大阪大（3勝2敗）

得	【大経】		【阪大】	得
0	山田	GK	乾	0
0	中尾	GK	二俣	0
4	川本	FP	戸川	0
1	田中	FP	久保	0
2	加戸	FP	土肥	3
5	覚間	FP	藤次	7
4	林	FP	尾野	3
2	吉田	FP	長坂	1
1	南	FP	木村	0
0	船山	FP	長田	0
2	船橋	FP	秦	1
5	山本	FP		
26	(0)	PT	(2)	15

★女子1部

▽10月8日・関大体育館
京教大（1勝）17（9－5, 8－3）8 大教大（1敗）
大体大（1勝）12（3－4, 9－2）6 大成蹊女短（1敗）

▽10月10日・大阪大体育館

大体大（2勝）23（13—4、10—3）7 京教大（1勝1敗）

武庫川大（1勝）29（8—5、21—1）6 大教大（2敗）

▽10月13日・西京極体育館

成蹊女短（1勝1敗）9（5—2、4—2）4 京教大（1勝2敗）

▽10月14日・西京極体育館

成蹊女短（2勝1敗）23（11—5、12—1）6 大教大（3敗）

武庫川大（2勝）20（12—0、8—2）2 京教大（1勝3敗）

▽10月15日・西京極体育館

武庫川大（3勝）11（6—5、5—3）8 大体大（2勝1敗）

得	【武庫】		【大教】	得
0	宮崎	GK	藤川	0
0	福島	FP	三船	0
2	恒川		松尾	0
0	吹田		下村	1
1	坂本		中村	0
3	木下		森内	1
7	清水		迫井	2
3	酒井		上野	0
1	関谷		山内	0
7	佐々木		若宮	0
5	沢村		西町	2
29	（3）	PT	（0）	6

▽10月21日・追手門大体育館

武庫川大（4勝）25（12—5、13—3）8 成蹊女短（2勝2敗）

大体大（3勝1敗）27（16—3、11—1）4 大教大（4敗）

▽10月22日・大体大体育館

武庫川大（5勝）27（11—1、16—0）1 大教大（5敗）

大体大（4勝1敗）22（11—3、11—2）5 京教大（1勝4敗）

得	【武庫】		【成蹊】	得
0	宮崎	GK	中村	0
			米沢	0
0	福島	FP	宮永	2
4	恒川		西山	3
0	吹田		前田	0
0	坂本		小島	0
8	木下		村田	0
0	清水		升	1
4	酒井		喜多	0
2	関谷		鈴木	1
7	佐々木		稲垣	1
0	沢村		今西	0
25	（2）	PT	（0）	8

得	【武庫】		【成蹊】	得
0	宮崎	GK	中村	0
			米沢	0
0	福島	FP	宮永	3
1	恒川		西山	2
1	吹田		前田	0
0	坂本		小島	0
2	木下		村田	0
0	清水		升	0
2	酒井		鈴木	0
1	関谷		稲垣	1
3	佐々木		今西	0
0	沢村		伊豆川	0
21	（5）	PT	（2）	6

得	【武庫】		【大教】	得
0	宮崎	GK	藤川	0
			松尾	0
1	福島	FP	荻原	0
1	恒川		下木	0
2	吹田		中村	0
2	坂本		三宅	0
8	木下		三船	0
5	清水		柏井	0
1	酒井		若宮	1
1	関谷		西村	0
2	佐々木		上野	0
4	沢村			
27	（3）	PT	（0）	1

▽10月29日・立命館大体育館

武庫川大（6勝）21（13—6、8—1）6 成蹊女短（2勝3敗）

大体大（5勝1敗）25（15—1、10—2）3 大教大（6敗）

▽11月3日・大体大体育館

大体大（6勝1敗）10（5—1、5—5）6 成蹊女短（2勝4敗）

▽11月5日・大体大体育館

京教大（2勝4敗）12（4—5、8—5）10 大教大（7敗）

得	【大体】		【成蹊】	得
0	柴田	GK	中村	0
			米沢	0
0	大竹	FP	宮永	2
1	加藤		西山	3
1	野村		前田	0
0	藤井		小島	0
2	浅井		村田	0
0	岡田		升	0
2	田辺		鈴木	1
1	戸村		稲垣	0
3	福田		今西	0
0	辰巳		伊豆川	0
10	（1）	PT	（0）	6

得	【京大】		【大教】	得
0	中村	GK	藤川	0
0	藤下			
4	秦	FP	松尾	2
3	清水		萩原	2
0	片岡		三船	0
2	竹内希		下村	1
0	加藤		中村	0
1	東元		三宅	0
2	竹内ゆ		森内	3
0	萬		柏井	0
0	山田		若宮	0
0	日高		西村	2
12	（0）	PT	（0）	10

東海学生リーグ

★男子1部

▼10月7日・愛知県体育館

名城大（1勝）39（20—6、19—6）12 愛教大（1敗）

岐阜大（1勝）20（9—6、11—7）13 名学大（1敗）

中京大（1勝）23（15—3、8—7）10 名大（1敗）

▼10月8日・愛知県体育館

中京大（2勝）27（14—7、13—5）12 岐阜大（1勝1敗）

愛教大（1勝1敗）35（20—11、15—9）20 名学大（2敗）

▼10月10日・愛教大体育館

中京大（3勝）28（12—5、16—3）8 名学大（3敗）

名大（1勝1敗）15（5—5、10—8）13 愛教大（1勝2敗）

名城大（3勝）34（18—6、16—5）11 岐阜大（1勝2敗）

▼10月29日・名城大体育館

名大（2勝3敗）19（11—6、8—6）12 名学大（5敗）

愛教大（2勝3敗）17（10—6、7—9）15 岐阜大（1勝4敗）

名城大（5勝）22（13—7、9—5）12 中京大（4勝1敗）

得	【愛大】		【岐大】	得
0	服部	GK	井上	0
0	佐藤		福安	0
5	梅村	FP	宮島	1
3	森田		永井	4
3	坂野		加藤	0
1	山内		服部	2
3	澄川		広瀬	0
0	伊沢		森吉	2
0	水谷		上野	6
2	栗田		森康	0
0	岩田		山田	0
			小林	0
17	（1）	PT	（2）	15

得	【名大】		【中京】	得
0	松井	GK	原	0
0	松倉		上村	0
10	鈴木康	FP	福井	0
2	江崎		坂口	1
4	鈴木輝		林	2
4	安藤		駒田	6
0	瀬島		村田	0
0	榊原		大畑	0
0	小林		曽貝	3
0	谷務		坂部	0
0	中村		竹田	0
2	玉井		古橋	0
22	（1）	PT	（3）	12

得	【名大】		【名学】	得
0	服部	GK	新美	0
0	宇佐美		永山	0
6	水野	FP	永井	2
0	村地		加藤	1
9	小原		若杉	0
2	長野		伊藤	0
0	高橋正		大橋	0
0	桜庭		小森	0
1	高橋省		神谷	1
1	新谷		星野	5
0	大田		福田	1
0	山本		海堀	2
19	（4）	PT	（0）	12

▼10月22日・愛教大体育館

名城大（4勝）42（20—8、22—1）9 名学大（4敗）

中京大（4勝）33（18—11、15—8）19 愛教大（1勝3敗）

名大（1勝3敗）24（10—8、14—6）14 岐阜大（1勝3敗）

東北学生リーグ

▽男子予選リーグ・Aブロック

仙台大 28（14—1、14—3）4 山形大

仙台大 15（8—6、7—7）13 宮城教大

宮城教大 24（12—3、12—3）6 山形大

【順位】①仙台大②宮城教大③山形大

Bブロック

東北大 19（9—4、10—4）8 秋田大

岩手大 19（10—6、9—7）13 秋田大

東北大 11（7—5、4—6）11 岩手大　引き分け

【順位】①東北大②岩手大③秋田大（①—②位は得失点差）

Cブロック

東北学院大 12（8—2、4—3）5 福島大

弘前大 18（8—9、10—5）14 東北工大

東北学院大 23（14—3、9—4）7 東北工大

福島大 20（8—2、12—5）7 東北工大

東北学院大 20（8—6、12—3）9 弘前大

福島大 14（8—4、6—4）8 弘前大

【順位】①東北学院大②福島大③弘前大④東北工大

▽7－10位決定リーグ

東北工大 24（9－9 15－6）15 秋田大

弘前大 15（7－5 8－5）10 山形大

弘前大 22（8－14 14－6）20 東北工大

秋田大 16（9－4 7－5）9 山形大

【順位】⑦弘前大⑧東北工大⑨秋田大⑩山形大

▽4－6位決定リーグ

岩手大 15（6－9 9－5）14 宮城教大

福島大 15（9－5 6－2）7 宮城教大

福島大 17（9－6 8－6）12 岩手大

【順位】④福島大⑤岩手大⑥宮城教大

▽決勝リーグ

得	【東北大】		【東学大】	得
0	金子	GK	手坂	0
		GK	芳賀	0
1	三浦元	FP	木村	5
1	渡辺	FP	宋	4
1	三浦隆	FP	桜井	1
2	木村	FP	佐藤稔	5
0	佐藤	FP	佐藤篤	0
1	上田	FP	熊谷	0
0	野沢	FP	弓場	2
0	風間	FP	新井	1
1	宇和川	FP	菊地	2
0	望月	FP	蔦川	1
7	(1)	PT	(3)	21

得	【東北大】		【仙台大】	得
0	金子	GK	川本	0
1	三浦元	FP	佐藤	4
0	渡辺	FP	片山	1
1	三浦隆	FP	桜庭	2
0	木村	FP	大野	1
0	佐々木	FP	黒川	0
0	上田	FP	三浦	1
0	野沢	FP	餌取	0
5	風間	FP	高橋	2
0	浅岡	FP	中野	3
0	宇和川	FP	橋山	1
7				15

▽決勝リーグ

東北学院大 21（11－3 10－4）7 東北大

東北学院大 11（6－2 5－6）8 仙台大

仙台大 15（7－2 8－5）7 東北大

【順位】①東北学院大②仙台大③東北大

▽女子・決勝

岩手大 12（5－6 7－2）8 宮城教大

―夜の集いお知らせ―

日時　4月21日（土）18時～

場所　東京代々木青少年スポーツセンター・小田急線参宮橋下車徒歩4分

主催　東京都ハンドボール協会電話03（441）二二一〇

会費　一〇〇円

フリースロー

—編集委員会論談—

機関紙を地方協会のジョイントに!!

前回、本誌にて〝あすなろ国体〟第一回記念大会の記事が掲載されておりましたが、ハンドボール競技発展に尽力される地方協会の方々の大変な熱意に非常に感激致しました。

私も地方協会の一員として、何とか現状より、多くの人々を賛同させ、そしてそれがハンドボール競技そのものの発展にと考えております。

その一つとして、地方協会同志の情報交換等と思案しておりますが、これを機に機関紙を通してお互いの立場で、意見をかわし合い、検討して、日本のハンドボール競技を、日本の個性にあった素晴しいものにしていこうではありませんか。

ハンドボール競技者の心得?!

この紙上をお借りして、これから私が申し上げることは、競技者たる皆さんにとりまして、非常にバカバカしいことの様に聞こえるかも知れませんが、競技者がそれぞれ各種大会に於いて試合をこなして行く上で、やはり場合に依っては怪我が付きもの（怪我も技術の中と言う言葉もありますが）、特に地方大会やクラブチーム関係の大会では、ウォーミングアップ等の不充分な状態が引き金となってしまうことが多く見受けられる様です。

ハンドボールと言うスポーツそのものの特性が、体を可成り無理な状態でしかも急激に変化させて行なうものですから、やはりこれからはその事に今以上に留意されて競技に臨まれる方がよろしいかと思います。

またこれは余談ではありますが、これからの各種大会では、『スポーツ傷害保険（これ決っして保険会社のPRではありません）に加入していない競技者は、その大会に参加出来る資格が得られない。』と言った、地方協会のやり方（結局、自分で起こした怪我は、自分で責任を持って下さい……と言う事なのですが）にも、その辺の事がうかがわれると思われます。

☆ ★ ☆ ★ ☆

各地の記録

◎第2回北信越室内高校新人戦

昭和54年1月14、15日
（新潟県立柏崎高校体育館）

▼男子の部

一回戦

氷見高校（富山） 33（20—2 13—4）6 北陸高校（福井）

二回戦

氷見高校 15（9—4 6—4）8 小松高校（石川）

坂城高校（長野） 17（9—5 8—4）9 巻高校（新潟）

決勝

氷見高校 18（9—6 9—3）9 坂城高校

▽女子の部

一回戦

有磯高校（富山） 8（5—2 3—1）3 新潟江南高・新潟

二回戦

仁愛高校（福井） 7（3—5 4—1）6 有磯高校

小松市立女子高校（石川） 18（8—5 10—4）9 松本美須ケ丘高校（長野）

決勝

小松市立女子高校 11（5—1 6—0）1 仁愛高校

◎第18回秋田県総合選手権兼東北総合選手権予選会

昭和53年11月23〜25日
（湯沢高体育館）

▼男子の部

一回戦

大曲高A 26—20 秋田大学

大曲農B 18—16 大曲農ク

ヤング曲高 22—11 並木ク

湯沢高 25—15 農短大

大曲農A 20—14 大曲高B

秋南ク 23—8 大曲同志会

下北手ク 27—13 秋田南高

秋田高専 16—7 横手高

二回戦

大曲農B 32—18 大曲高A

湯沢高 22—14 ヤング曲高

大曲農A 25—19 秋南ク

下北手ク 26—16 秋田高専

三回戦

湯沢高 26—13 大曲農B

大曲農A 21—16 下北手ク

準決勝

湯沢高 23—8 大曲農A

決勝

湯沢ク 28（15—14 13—5）19 湯沢高

▽女子の部

一回戦

大曲農B 8—7 大曲高

全和洋 17—5 六郷高

準決勝

和洋女高 6—5 大曲農B

全和洋 11—8 大曲農A

決勝

和洋女高 13（5—7 8—2）9 全和洋

◎東京都クラブリーグ53年度リーグ戦結果

昭和53年4月〜11月
本会場・板橋高校グランド

1部男子順位

1位 大崎愛球会 8勝1敗112点
2位 稲球会 8勝1敗106点
3位 神代クラブ 6勝3敗
4位 江東ミカワ 4勝4敗1分
5位 サミッツ 4勝5敗
6位 柏クラブ 3勝5敗1分
7位 井草クラブ 2勝6敗1分
8位 早苗クラブ 2勝6敗1分
9位 府中クラブ 4勝5敗②棄
10位 若木会A 2勝7敗

二部順位

1位 L・B・C 8勝1分
2位 サンクラブ 8勝1敗
3位 荏原クラブ 7勝1敗1分
4位 日産クラブ 5勝4敗
5位 日航クラブ 4勝5敗17点
6位 S・K・C 4勝5敗4点
7位 神楽坂会 4勝5敗△23点
8位 押上クラブ 1勝8敗
9位 明友会 1勝8敗
10位 大島会 2勝7敗②棄

女子の部

1位 武蔵野クラブ 6勝
2位 桐朋OGク 3勝3敗
3位 若木会女子 3勝3敗△20点
4位 小平・OG 6敗

協会広報

財団に対するご寄付について

■財団法人とは？

財団法人とは、一定の目的（国内のハンドボールの普及、国民の体力の向上などの公益目的）のために出損された財産（現金、不動産、その他）の集団（財団）を基礎として法人格（会社と同じような独立の人格）を与えられたものです。日本ハンドボール協会の場合は文部大臣の許可を要し、許可されるためには一定の額以上の基本財産（上記出損金）が必要です。財団の運営はその機関（理事）が法人の内部規則（寄付行為）によって行ないます。

法人になりますと、任意団体と違って、対外的にも法人名で法律行為その他の行動をすることができ、第三者に損害を加えたときは法人及びその理事が責任を負うことになり、また文部大臣の監督下におかれます。

基本財産は、運用することはできますが、特別の場合でなければこれを取崩すことはできません。日本ハンドボール協会が財団法人になることによって、その財政基盤が確立されるうえに、ハンドボール愛好者や関係者の緊密化、連帯感も強まることが期待されます

■財団に対する寄付の免税措置について

財団法人日本ハンドボール協会設立のため（もちろん設立後も）の寄付は、法人税法、所得税法所定の損金算入限度を超える場合も特別に損金に算入できます。

詳しくは、日本ハンドボール協会事務局（30—467—7097）にお問合わせください。

〜〜ご寄付の振込みは次の口座へお願いします〜〜

(1) 大和銀行渋谷支店 普通預金口座 №388749

(2) 東海銀行渋谷支店 普通預金口座 №316—178

いずれも
財団法人 日本ハンドボール協会設立準備会
代表 斎藤英四郎 名義
です。

東京都選手権

▼一般男子・一回戦　10月29日～11月12日

日大 22—20 中大
東京重機 21—14 日体大D
全駒沢 26—13 若木会
日体大C 11—9 ラージェスト

▼同　二回戦

日大 37—7 井草クラブ
日体大B 32—10 杉並クラブ
陽球会 15—12 星友会
東京重機 25—13 東京理科大
全駒沢 24—10 市谷自衛隊
青山学院大 18—14 神代クラブ
東京教員 23—15 明治大
日体大C 20—14 日体大A

▼同　三回戦

東京重機 26—13 陽球会
日大 29—19 日体大
青山学院大 12—9 全駒沢
東京教員 23—12 日体大C

▼同　準決勝

東京重機 21（10—9、11—8）17 日大
東京教員 35（19—10、16—7）20 青学大

▼同　三位決定戦

日大 37（20—12、17—8）20 青学大

▼同決勝

東京教員 31（12—9、19—9）18 東京重機

▽一般女子・一回戦

東京学芸大 13—7 日女体大B
武蔵野ク 30—4 熊の子会
東京重機 14—5 日女体大
日体大B 16—6 日女体大C
日体クラブ 11—7 東花クラブ

▽同二回戦

日体大 19—6 東京学芸大
東京重機 19—10 武蔵野ク
日体大B 16—8 義和クラブ
東女体大 15—5 日体クラブ

▽同準決勝

東京重機 18（9—3、9—7）10 日体大
東女体大 21（11—4、10—6）10 日体大B

▽同三位決定戦

日体大 21（2—5、19—3）8 日体大B

▽同決勝

東京重機 16（9—6、7—8）14 東女体大

東日本医科大学大会

10月28・29日

▽Aブロック

杏林大 22—8 日本医科大
北里大 17—9 岩手医科大
北里大 33—5 杏林大
岩手医科大 21—8 日本医科大
岩手医科大 13—12 杏林大
北里大 12—0 日本医科大

▽Bブロック

自治医科大 28—6 慈恵会医大
自治医科大 25—12 筑波大
筑波大 16—15 慈恵会医大

▽A・B対抗三位決定戦

岩手医科大 16—13 筑波大

同決勝

北里大 14—13 自治医科大

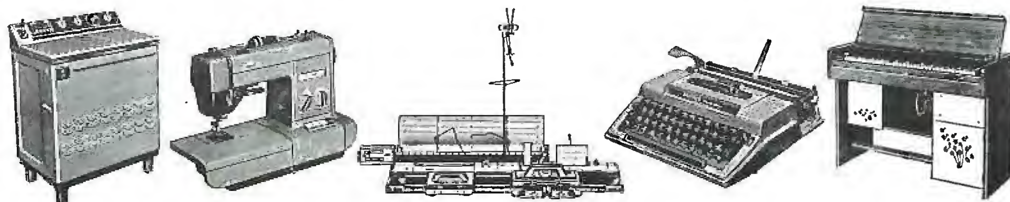


練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社



日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一六九号
昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可
昭和五三年十一月二十五日印刷
昭和五三年十二月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表(467)七〇九七
振替 東京 六―五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価 三百五十円
(年間購読料三千三百円)